

校友会報

NO.02
2016.11 発行



道後温泉本館夜景



附属小学校



日浦地区彼岸花

発行：愛媛大学校友会事務局

〒790-8577 松山市文京町3番 校友会館2階
Tel:089-927-8610 / Fax:089-927-8609

E-mail:office@koyu.ehime-u.jp
webサイト:http://koyu.ehime-u.jp/

愛媛大学校友会 前会長 森本 惇 会長退任にあたり



愛媛大学校友会会長退任にあたり、私と愛媛大学との関わりや企業人生を振り返ってご挨拶に代えさせていただきます。

昭和39年3月、愛媛大学文理学部（法学専攻）を卒業し、伊予鉄道㈱に入社しました。

この年は、東京オリンピックが開催された年で、聖火リレーが松山市駅前を通過する時の人出は、秋祭等地域の催事の人出と比較できない程の多さであったことが印象深く思い出されます。

伊予鉄道は、電車、バスの会社と思っていましたが「総合生活サービス産業」をグループ経営の理念として、県民の生活に密着した無くてはならない事業を営んでいる事に驚かされました。

私は本社部門の総務・財務分野で仕事をしてきましたが、思うに、先輩、上司等「人」に恵まれたことが50年を超えるサラリーマン生活を充実して送ることができた最大の要因だと思っています。「相手の話を聞く」、「自己中心的にならない」ように気をつけて人間関係を築いてきました。愛媛大学では「法学」を専攻し、学生時代は余り勉学に励んだ記憶はありませんが、社会人になってからは、「法律」を学んだことが凄く役立ちました。

元警察官だった亡父の勧めで愛媛大学で法律を学んだのでありますが、日本は法治国家であり、あらゆる分野で法規制があり、また、時代の変遷に伴い法改正が頻繁に行われる現代においては、常に法改正の内容を熟知することが大切です。この点、学生時代に色々な分野の法律を読み解釈の仕方を学んだことが大いに役立ちました。

平成10年に勤続35年、57歳で伊予鉄道㈱社長に就任。当時は松山市駅前の再開発事業に伴い、伊予鉄高島屋の建設、坊っちゃん列車の運行、電車・バス事業の改革、グループ会社の事業再編等があり、この時期が仕事面では一番多忙で同時に充実した時でありました。

平成16年4月には国立大学の法人化が文科省で決定され、従来と異なる大学運営が求められる事となりました。「学生中心の大学にするため外部から支援をする」ことを目的として「愛媛大学校友会」が設立されることとなり、当時の学長から強い要請を受け初代会長を引受けることとなりました。

本年7月の校友会総会までの約13年間にわたり、大過無く任を全うできたのも、やはり「人に恵まれた」おかげで、歴代の学長、同窓会・校友会役員の皆様のご支援・ご協力等お力添えの賜物であったと深く感謝しているところです。

今後は、少し我儘でマイペースな私生活を送りながら、母校愛媛大学の発展・活躍を見守っていきたいと思っております。



校友会設立総会



愛媛大学卒業式 祝辞



子規俳句カレンダー
前会長直筆絵手紙



学生団体活動援助金 交付式

愛媛大学校友会 会長 高橋 祐二 就任のご挨拶



CONTENTS

愛媛大学校友会会員の皆様には、日頃より当会の運営にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。平成28年7月23日の第5回定時総会におきまして、新会長を拝命しました高橋でございます。森本前会長のもと10年間にわたり副会長を務めましたが、何もお役に立てなかった分、少しでもお返しができればと考えています。微力ではございますが、武田新副会長・野村新副会長と一緒に、校友会発展のために努力いたす所存です。

私は、昭和47年（1972年）4月に工学部冶金学科に入学し、昭和51年（1976年）3月に卒業して地元の三浦工業に入社しました。仙台を皮切りに神奈川県厚木、三重県津、名古屋、東京でメンテナンス・営業を経験して、13年前に本社がある松山に帰ってきました。その後すぐに社長に就任し、平成28年4月から会長に就いています。そんな私の原点は、大学時代の恩師、そしてクラブ活動（自動車部）の先輩や同期、後輩との濃い人間関係にあると自信を持って言うことができます。この愛媛大学の良き人間関係づくりの伝統を繋いでいけるような校友会を、大学と一緒に目指してまいります。

さて、愛媛大学校友会は、愛媛大学に関わりのある同窓生をはじめ旧在職者、教職員、学生およびそのご父母の皆様を会員として、平成16年3月20日に設立されました。愛媛大学の使命である教育・研究の進展と地域への貢献を側面から支援し、愛媛大学の発展に寄与するとともに、私ども会員相互の親交を図ることを目的としております。

校友会の独自事業と併せて、大学としてこれまで対応が難しかった課題について、大学と話し合いながら取り組んでおり、今後もこれらの事業を継続して実施してまいります。また、校友会ホームページやウェブ会員登録システムの充実を図ることにより、本会および会員相互の情報交換が積極的に行われ、多くの皆様が校友会の活動にご参加いただけるよう努力してまいりますので、より一層の温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



〈プロフィール〉

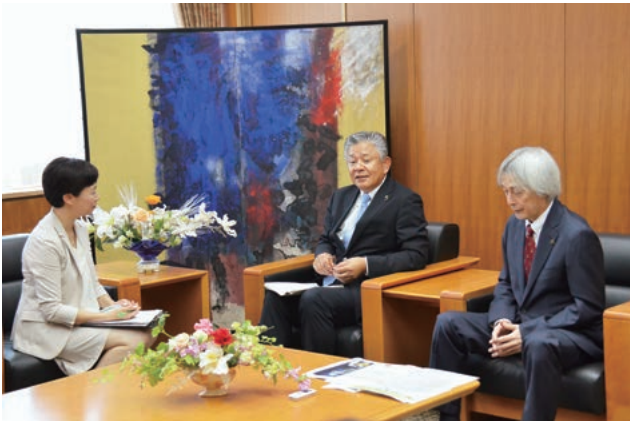
1953年大分県生まれ。1976年愛媛大学工学部卒業、同年に三浦工業株式会社入社。2004年4月に同社代表取締役社長に就任、2016年4月より現職。主な公職に日本経済団体連合会幹事、四国経済連合会副会長、日本小型貫流ボイラー協会代表理事、松山商工会議所副会頭など。2016年7月に愛媛大学校友会会長に就任。

ご挨拶	02
会長・学長 座談会	04
大学支援事業(入学生支援)	06
課外活動支援事業	07
全学支援事業	07
海外留学支援事業	08
就職支援事業	10
大学支援事業(卒業生支援)	11
先輩に学ぶ	12
会員交流事業	20
社会連携事業	20
子規俳句カレンダー	22
ホームカミングデイ	23
国内支部	24
海外支部	26
校友会組織,Q&A, 会員情報登録等	27
第5回定時総会開催	28
事業報告及び事業計画 決算及び予算	29
愛媛大学トピックス	30
クロスワードパズル, 編集後記	31

愛媛大学校友会 会長 高橋 祐二 愛媛大学 学長 大橋 裕一 座談会

高橋会長の学生時代のこと、また民間人として、母校に寄せる期待や校友会会長に就任した抱負などを伺いました。

(聞き手：合田 みゆき…愛媛大学教育学部卒
南海放送(株)を経て現在フリーアナウンサーとして活躍中)



社会で大きな力となったのは課外活動で得た能力と仲間

合田：高橋会長は愛媛大学工学部の卒業生でいらっしゃいますが、大学時代の思い出で特に印象深いことはありますか。

高橋：私は昭和47年に入学しましたが、今、振り返ってみても思い出すのは、ほとんどが課外活動のこと（笑）。私は自動車部に入部したのですが、それはまず自動車免許を取得したいと考えたから。「免許が取れたらヨット部に転部しよう」と思っていたのですが、当時は先輩後輩の人間関係が非常に濃密で、結局、辞めたいと言い出せぬまま、4年間自動車部で活動をしました。しかし、結局のところはこれが非常に良かったのです。そこで得た様々な経験は私の人格を形成してくれ、企業に就職してからも大いに役立ちました。

学業においては、3年次が終了した時点で必修科目の取り漏れがかなりありましてね。これはいけないということで、4年生の時には講義は必ず最前列で受講し、先生のところにも頻りに顔を出して質問攻めにしました。もう少し早くやる気になっていれば良かっただけのこともかもしれませんが、結果的には目標のために必死で努力し、それを達成したことは、後の人生にも大いに自信になりました。

大橋：自動車部で得た経験は、具体時にどのように社会で役立ったのでしょうか。

高橋：一番はコミュニケーション能力。時にはぶつかり合いながらも理解し合うことの大切さを知り、かけがえのない仲間たちを得ることができたと思います。私は2004年、約30年ぶりに松山へ戻り、すぐに社長に就任しました。ほとんど知り合いがいなくなっていた私を気遣い、社長就任後、自動車部OBの仲間たちがOB会を立ち上げて私を励ましてくれました。非常に心強く、嬉しく思いましたね。

大橋：やはり先輩や後輩と接する中で、社会に適應する能力が身につく、仲間との絆を一生のものにすることができるのでしょね。愛媛大学では2012年7月に「愛大学生コンピテンシー」を定めました。これは、学生が卒業時に身につけておいて欲しい能力を示したもので、正課の授業や研究活動、サークルやボランティア活動で得た多様な能力により、卒業後の人生を切り拓き、豊かに生きるための大きな力を身につけてもらうことを目的としています。高橋会長の経験は、まさにそれを地でいっていたというわけですね。

高橋：有難いことだと思っています。

愛媛大学と地域社会がWin-Winの関係を構築

合田：高橋会長の会社では、愛媛大学出身者も活躍していると聞いています。

高橋：毎年20名前後の愛媛大学卒業生を採用しており、現在愛媛大学OBの社員数は400名を超え、国内の社員の実に7人に1人は愛媛大学の卒業生です。理系を中心に文系の学生も一定程度採用していますから、文理融合の社会共創学部からの卒業生も積極的に採用したいと考えています。

大橋：とても有難い話ですね。教授陣も学生たちも非常に意欲をもって日々を過ごしています。4年後には優秀な学生を地域に送り出し、それを継続していきたいと思っています。

高橋：そこで1点お願いがあります。私も企業は海外にも多くの拠点があり、グローバルな視点をもつ人材を熱望しています。またチームワークや自主性、これらをもつ人材を育てて欲しいというのが地域の産業界の願いです。

大橋：社会共創学部はクォーター制をとっており、1年に3ヶ月は自由な時間を手に入れることができます。その期間、インターンシップや海外短期留学などを経験してもらい、社会で必要な能力を身につけてもらおうと考えています。このほかに愛媛大学に望まれることはありますか。

高橋：要望というより期待なのですが、我々民間からすると、どうしても大学には近寄りやすい雰囲気があるので、大学側からどんどん地域にアプローチする姿勢を強めていただきたいですね。

大橋：そうですね。大学はやはり「知の拠点」であるべきなので、地域との人的交流を増やしていく必要があります。今後は、研究者が大学と民間企業等の2つの機関に雇用されつつ、それぞれの機関における役割に応じて研究・開発及び教育に従事するという、クロスアポイントメントにも取り組み、より強固な産学連携を行っていきたいと考えています。

高橋：望むところです。お互いがWin-Winの関係、付加価値をもたらす関係を構築していきたいですね。

合田：最後に高橋会長は愛媛大学校友会会長に就任されましたが、抱負をお願いします。

高橋：愛媛大学には「輝く個性で地域を動かし世界とつながる」というミッションがありますが、私たちはこれからも変化していく愛媛大学を側面から応援したいと思っています。校友会は大学の応援団で、私はその団長となるわけですからいっそうの当事者意識をもち、お役に立てることを一生懸命考えて参ります。

大橋：非常に有難い限りです。

合田：本日はありがとうございました。



大橋愛媛大学長

高橋校友会会長

合田みゆき氏

入学式の様子 2016年4月6日(水)、「ひめぎんホール」にて愛媛大学入学式が開催されました。

平成28年度愛媛大学入学式及び大学院入学式が4月6日(水)の午前10時からひめぎんホール(愛媛県民文化会館)において挙行され、1,945人の学部生及び383人の大学院生が入学しました。

入学式では学部ごとに入学生が紹介された後、大橋学長の式辞がありました。引き続き森本惇愛媛大学校友会会長から「校友会は様々な事業を行っていますが、大学支援事業は、学生の皆様への支援が中心です。これからも会員相互のネットワークの拡充、大学と地域社会の交流への支援など、幅広く愛媛大学の活動を支援させていただき所存です。」と祝辞がありました。



愛媛大学校友会では学部入学生に、学修ポートフォリオファイルと、校友会会員登録記念品を進呈しました。

会長祝辞 -2016.4.6-

本日、愛媛大学にご入学された皆さん、ご入学誠におめでとうございます。

また、ご列席のご家族の皆様におかれましても、希望に満ちたお子様の晴れ姿をご覧になられ、お喜びも一入(ひとしお)のものがあるかと心よりお慶び申し上げます。

さて、愛媛大学校友会は、平成16年3月20日に愛媛大学の同窓生をはじめ、退職教職員、現教職員、そして学生の皆様を会員として、二つの目的を持って設立されました。

その一つは、愛媛大学の目的・使命である教育・研究の進展と地域への貢献を側面から支援し、愛媛大学の発展に寄与すること、もう一つは、私ども会員相互の親交を図ることです。

その目的を達成するため、校友会は



様々な事業を行っていますが、大学支援事業は、学生の皆様への支援が中心であり、学生の課外活動に対する支援、学生の海外派遣制度への資金援助、就職支援バス運行等による就職活動への支援、学生用の図書整備に対する資金援助、海外インターンシップへの支援、外国人留学生への支援など、大学として対応することが難しかった課題について、大学側と話し合いながら事業を推進しています。



今後、校友会は、これらの事業を更に充実させるとともに、国内外の校友会支部と連携を図りながら、平成二十二年三月に新築された校友会館を拠点とした会員相互のネットワークの拡充、大学と地域社会の交流への支援など、幅広く愛媛大学の活動を支援させていただき所存でございます。



今、日本は、財政不安、東日本大震災からの復旧・復興、少子高齢化と社会保障の問題等、多くの深刻な問題を抱えています。大学生となられた皆様方には、自ら学び、考え、実践する能力と次代を担う誇りと豊かな人間性を持つ人材、そして社会の発展を牽引し、日本を支え得るリーダーとして成長されますよう、また、そのためには好奇心旺盛で学ぶことに貪欲に、自らを向上させる気概を持った人間になっていただくよう、期待申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。

本日は、誠におめでとうございます。

愛媛大学校友会会長 森本 惇

平成28年9月8日(木)、愛媛大学校友会館2階サロンで、学生団体活動援助金交付式を大橋愛媛大学長及び高橋校友会会長出席のもと実施しました。

これは、校友会学生支援事業の一つで、愛媛大学学生団体評価実施規程に基づき、大学が平成27年度における課外活動状況を上位からA～Eの5段階に評価し、優秀な学生団体に対し校友会から活動費(総額500万円)を資金援助するものです。

これにより、校友会の課外活動支援事業を理解していただくとともに、学生の皆さんの課外活動の更なる飛躍、また励みにつながることを目的として平成19年度から実施し、今回で10回目の交付となりました。

式では、評価Aサークルの紹介があった後、大橋学長から「今年も校友会には、本学サークル団体に活動支援を援助していただきありがとうございました。平成24年7月に愛大学生コンピテンシーを制定しましたが、みなさんは課外活動を

通じて多くの仲間と切磋琢磨し、いろいろな能力を身につけてください。また、校友会には今後ともご支援をお願いします。」との挨拶がありました。



引き続き高橋校友会会長から体育系全学サークル代表者と文科系全学サークル代表者にそれぞれ活動援助金の目録が授与され、「A評価を受けた10団体のみなさん、おめでとうございます。みなさんがサークル活動に真摯に取り組み、日々努力を積み重ねたことに敬意を表します。みなさんの熱意とリーダーシップを今後活かしてください。私は1972年に入学し自動車部に入りました。その

サークル仲間とは今も交流は続いています。また、サークル仲間だけでなく地域の人たちとの交流はコミュニケーション能力の向上に繋がったと思います。」と挨拶がありました。



記念撮影の後に行われた懇談では、各サークル団体から昨年度や今年度の実績等の報告、大学への要望などについて意見交換がありました。

愛媛大学学生団体のより一層の活躍を期待しています。

【給付対象

評価C以上：給付団体 計50団体
(体育系33団体、文科系17団体)】

【今回のA評価の団体】

- ・体育系6団体
少林寺拳法部、陸上競技部
チアリーディング部、男子バレーボール部
ダンス部、漕艇部
- ・文化系4団体
E.S.S.、交響楽団、俳句研究会、吹奏楽団



学生の学習環境充実のために、大学の図書館(城北地区中央図書館、重信地区医学部分館、樽味地区農学部分館)へ毎年300冊以上の学生用図書を寄贈しています。

- ・平成25年度…632冊
- ・平成26年度…325冊
- ・平成27年度…342冊

※寄贈本には校友会の印章が押印してあります。

留学する学生のために、渡航費や海外旅行傷害保険等の一部を支援しています。
また、海外留学安全対策協議会（JCSOS）のJ-Basic加入料を負担しています。
この制度により、海外留学した学生の体験記を掲載します。

「韓国文化研修」

法文学部人文学科3年 新濱 恵美子

概要

■研修期間 2015年8月18日～2015年8月25日

■留学先 韓国 韓瑞大学校

私が今回の研修に参加した理由は、一回生の時に初修外国語で朝鮮語を履修し、以前も韓国を訪れたことはあったが、また韓国を訪れてみたいと感じたからだ。加えて、非武装地帯の見学など、普段の旅行では行けない場所に行くことができるのもとても魅力的に感じた。

以前韓国を訪れた際は、韓国語の挨拶しか分からない状態で韓国を訪れたが、韓国語の基本的な文法やハングルを学んでから韓国を訪れた今回の研修は、以前訪れた時には感じられなかったことを感じる事ができた。例えば、街中の看板や道路標識のハングルを読むことができたり、韓国の学生たちが話す言葉の中に学んだフレーズが登場してくると嬉しく感じたりしたことである。

一週間の研修では、キャンパスツアー、民俗村、独立記念館やソウル見学など、様々な場所に行くことができた。一回生の朝鮮語で用いた教科書に登場した、民俗村に実際に訪れることができとても嬉しかった。また民俗村では、農楽や、綱渡り、婚礼など、韓国の伝統的なものを実際に見ることができた。

非武装地帯の見学は、韓国に研修に行っている間に、北朝鮮の砲弾が韓国の領土に入ったということで、軍事境界線が緊張状態となったため、行くことができなかった。しか

し、実際に、韓国と北朝鮮の関係を肌で感じる事ができたように感じる。韓国の学生にこのようなことはよくあるのかと尋ねると、年に10数回はあると言ってとても驚いた。また、男子学生が、もし戦争になったら俺達も行くよ、と平然と言っている姿がとても印象に残った。韓国の学生は実際に兵役を終えている人達であった。韓国に兵役があるというのは知っていたが、実際に兵役に行った感想や内容などを直接聞くことができ、とても新鮮であった。



そして、韓国の学生との交流はとても思い出に残っている。学生は、皆日本語が上手であったため、日本語で会話していた。毎晩の共同学習では、韓国と日本の「衣・食・住の違い」について話し合いをしながら、分かる範囲で、お互いになぜこういう文化になったのかそれぞれの視点で考えていった。衣・食・住の違いを挙げていくときには、お互いに驚くものがあったとても楽しい時間で

あった。また、音楽や漫画の話、日本語の難しい所など様々なことが聞けてとても勉強になった。

また、一週間一緒に過ごすうちに、どんどん仲良くなっていくのが感じられてとても素敵な時間であった。

今回の研修を通じて、韓国の学生が日本語が上手いのに、一日何時間も漢字を勉強したり、SNSで日本人と日本語で会話したりと、努力したからだと聞き、自分の韓国語を勉強する姿勢を反省する機会となった。また、初め人見知りをして、話すことができなかったため、もっと積極的に話していくようにしたいと感じた。今回の研修で、自分の至らない点を認識することができたので、今後の生活で、改善していけるように努力したいと考える。

最後に、一週間共に研修をした学生や先生、この研修に携わっていただいたすべての皆様に感謝したい。



「フランス言語文化研修」

法文学部人文学科3年 河野 加奈

概要

■研修期間 2016年2月28日～2016年3月22日

■留学先 フランス ブルゴーニュ大学

私は大学1年生のときにフランス語に出会い、勉強を続けてきた。フランス語という言語やフランスの文化、そこに住む人々について関心が高まっていたとき、海外文化研修説明会でこの研修についての説明を聞き、参加することを決めた。日本からはとても遠い国であり、なかなか行く機会のないところでもある。

また、実際にフランス人の方とフランス語だけで話す機会もなかなかない。この研修は本当に良い機会であった。



研修期間は3週間で、ディジョン市にあるブルゴーニュ大学で語学研修を受け、最後の週末にはパリで過ごした。月曜から金曜までは、時間割に従い大学の語学クラスに入り、フランス語を勉強した。日本人が多かったが、中国人、韓国人、台湾人、グアテマラ人、イラク人の方がクラスにいて、日本語が通じない相手と

フランス語を共通語としてペアワークをしたり、休み時間に話をしたりすることは、日本ではできない体験であり、新鮮だった。コミュニケーションが思うようにできず、難しいこともあったが、そのたびに考え、挑戦し、自分の成長へとつながった。



また、放課後にはスーパーやパン屋、服屋、お土産屋など、自由に買い物に出かけ、日常生活の中でフランス語にふれ、店員や買い物客などの地元の人たちと触れ合うことができた。楽しみながら、語学、文化を肌で感じる事ができた。ディジョン市で研修をしている間の週末には、引率のモヴェ先生に案内してもらいながら、ディジョン市やポーヌ、ブザンソンに行き、文化研修をした。歴史的町並みや、教会、美術館、カフェ、レストランなど、様々な場所でフランスの文化に触れることができた。日本では見たことのないものばかりで、すべてが新鮮であった。最後の週末2日間は、パリに移動し、有名な観光地をめぐる。エッフェル塔、凱旋門、ノートルダム寺院、モンマルトル、ルーヴル美術館、オ

ペラ座など、聞いたことはある、テレビでは見たことがあるというような場所を実際に自分の目で見る事ができた。

ガイドブックやテレビでなく、本物の場所に立ち、自分の目で見られたことは、私の人生においてとても貴重な瞬間になった。

今回の研修は3週間という長期間の滞在によって、とても有意義な経験になった。普段日本にいては体験できないことをたくさん体験し、出会えなかった人たちに出会い、すばらしい場所を訪れ、たくさんの刺激をもらい、自分の成長につながった。大変なこともあったが、それよりも新たな発見や楽しみの方が多く、長いようであつという間の3週間であった。行く前は期待と不安が半々であったものの、帰ってきてみるとすごく楽しかったと心から言える。この研修の経験を忘れず、これからの勉強や活動に生かしていきたい。



就活ツアー（バス運行、交通費援助）支援

愛媛大学および各学部後援会と共催で、東京・大阪や広島で開催される合同企業説明会へ参加する在学生のためにバスの運行や交通費の支援を行っています。

就活学生と卒業生との情報交換会開催

首都圏及び近畿圏への就活ツアーに参加した就活学生と同圏内に在住している卒業生との情報交換会を開催しています。この情報交換会は、就職や職業生活等の幅広い情報を収集し、今後の就職活動に役立てる目的で実施するものです。さらにこの情報交換会を通して、本学学生と本学卒業生の交流を促進することで、校友会組織を拡充し、卒業生の協力による本学就職支援体制の強化充実を図るものです。

●平成28年3月1日(火) =大阪コース= 就職支援バスを運行（貸切バス2台）して情報交換会を開催しました。

大阪の合同企業説明会「マイナビEXPO」（インテックス大阪）に併せて実施しました。年度末の平日にもかかわらず、近畿圏在住の卒業生29人と就活生46人との情報交換会を大阪梅田のブリーゼプラザで開催しました。



情報交換会では、単なる就職活動のノウハウだけでなく、職業人としての心構えや仕事に対する姿勢など、幅広い情報交換が活発に行われ、本学学生と卒業生との新たな交流が生まれました。卒業生の皆様、お忙しいところありがとうございました。

●平成28年3月19日(土) =東京コース= 就活ツアー参加学生との情報交換会を開催しました。

東京の合同企業説明会「マイナビEXPO」（東京ビッグサイト）に併せて実施しました。この就活ツアーは平成18年度から実施しており、今回も首都圏在住の卒業生24人と就活生58人との情報交換会をグランパークプラザで開催しました。



情報交換会では就活生の代表が「本日の情報交換会で多くの諸先輩方と情報交換し交流を深めるとともに、就活生同士でも情報を交換し就活に役立てたい。」と力強い挨拶がありました。会場は卒業生と在学生との活発な意見交換で熱気が溢れ、在学生は真剣な眼差しで先輩に質問するなど、非常に有意義な会となりました。

卒業生の皆様、お忙しいところありがとうございました。

●平成28年3月3日(木) =広島コース= 広島市の「中四国国立合同企業説明会」（東広島運動公園）に貸切バス1台で就活学生13人が参加しました。

平成28年度の情報交換会の開催は次のとおり計画しています。卒業生の皆様のご出席を心よりお待ちしております。（都合により変更となる場合があります。）

●大阪コース 平成29年2月28日(火) 18:30～ 「ブリーゼプラザ」7階小ホール 大阪市北区梅田2-4-9

●東京コース 平成29年3月10日(金) 18:30～ 「グランパークプラザ」4階（ホワイエ）東京都港区芝浦3-4-1

卒業式の様子 2016年3月24日(木)、「ひめぎんホール」にて愛媛大学卒業式・大学院学位記授与式が開催されました。

平成27年度愛媛大学卒業式及び大学院学位記授与式が挙行され、1,831人の学部卒業生、398人の大学院修士に学位記が授与されました。

午前10時からひめぎんホールメインホールで、平成27年度愛媛大学卒業式が挙行され、大橋裕一学長から各学部の代表者に学位記が手渡され式辞があった後、森本惇校友会会長が「愛媛大学で4年間真摯に学問に取り組まれ、また、社会人としての心構えを学ばれるなど、充実した日々を過ごされ、本日の佳き日を迎えられたものと、改めてお祝い申し上げます」と卒業生に祝辞を述べました。

また、校友会では卒業生に、卒業記念品として『今治のタオルマフラー』を贈呈しました。卒業生の皆様の今後ますますのご活躍とご発展をお祈りいたします。



会長祝辞 -2016.3.24-

卒業生の皆様 ご卒業おめでとうございます。

皆様方は愛媛大学で4年間真摯に学問に取り組まれ、また、社会人としての心構えを学ばれるなど、充実した日々を過ごされ、本日の佳き日を迎えられたものと、改めてお祝い申し上げます。

また、ご列席のご家族の皆様方におかれましても、長い間のご苦労が報われ、本日をお迎えになられたことに対し、心からお喜び申し上げます。

さて、皆様は、既に入学時に愛媛大学校友会に入会しておられますが、卒業後も我々とともに、母校の発展を温かく見守り、支援していただきたいと思っております。

ご承知の通り、愛媛大学校友会は、大学、在学生および卒業生をいろいろな形で支援し、地域社会に貢献していくことを目的として平成16年3月に創立されました。現在、首都圏、近畿圏の国内2支部、中国、ベトナム、ネパール、マレーシア、インドネシア、バングラデシュの海外6支部を有し、会員数は約12万人の大きな組織となっています。

また校友会には、もう一つの会員相互の親交を図るという目的があります。平

成22年、城北構内に建設いたしました「校友会館」を拠点に活動しています。

その一つとして、毎年、学生祭に併せて開催しています「愛媛大学ホームカミングデー」があります。これは卒業生が一堂に集い、旧交を温めるとともに、講演会、懇親会等を通じて、在学生、教職員等と語り、母校の現状を理解して戴く絶好の機会となっておりますので、皆様も是非、母校に帰ってきて下さるようお願いいたします。



今、日本は、財政不安、東日本震災からの復旧・復興、少子高齢化と社会保障の問題等、多くの深刻な問題を抱えていますが、愛媛大学で学ばれた知識と経験を基に、これらの諸問題に果敢に挑戦していただくことを期待してやみません。

最後になりますが、卒業生の皆様の未来が幸多きものとなることを祈念申し上げます、私のお祝いの言葉とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

愛媛大学校友会会長 森本 惇

本学卒業（修了）後、愛媛県内企業等で活躍されている先輩を現役の愛大生が訪問取材し、先輩の生の声を掲載する『先輩に学ぶ』をホームページに掲載しています。これは、様々な業種に就かれている卒業生同士や後輩学生との交流を図るとともに、校友会会員相互のネットワークを拡大させることを目的としています。

また、先輩からの有意義な学生生活の過ごし方や就職活動等へのアドバイスなど、先輩だからこそ教えてもらえる社会のこと大学のこと（先輩学）をインタビューしています。

愛媛県立松山西中等教育学校 井上 亜弓さん

（平成27年1月取材）

（2013年3月 教育学部学校教育教員養成課程社会科教育専修 卒業）

（現在：愛媛県立松山西中等教育学校 教員）



面白さと可能性を感じた教員の道へ進み、反省と工夫を繰り返しながら、授業でも部活でも一生懸命生徒と向き合っています。

※中等教育学校では、中学1年から3年生までを1～3年生（または前期生）
高校1年生から3年生までを4～6年生（または後期生）と呼ぶ。

現在の仕事を選んだ理由・きっかけは何ですか。

教員の今も、何でだろうと思うこともあります。一番のきっかけは、学校というものの、社会における可能性について在学時にいろんな先生方とお話する中で魅力を感じたからです。

それから、そもそも小学生くらいから、先生という職業が楽しそう、面白そうだと思っていました。

授業や部活動など様々な場面で自分より若い世代と関わっていくことに面白みを感じました。大学受験をするときに、教育学部を選び、その後大学で教育学や専門の社会科、その中でも世界史などを学び、それがどういうふうにも子どもたちに伝わって、子どもたちはそれを学んで今後の社会でどう活躍していくのかということに興味を湧いて、教員採用試験を受けました。

現在、どのような仕事を担当していますか。

現在は、3年生の副担任をしています。授業では5・6年生の世界史、3年生には公民分野を教えています。

専門が世界史で、公民分野は個人的にはあまり好きではないのですが、授業の準備などをしていくと、世界史や日本史とのつながりも見えて、自分も勉強になりますね。生徒と関わっているときには楽しい瞬間もありますが、働き出してから失敗や反省ばかりです。授業でも、問いかけがうまくいかない、スムーズに答えまで導けない、分かりやすい話し方ができないなど反省することが多く、いつも敗北者のように教室を後にしています（笑）。特に、生徒の集中が途切れる「魔の35分」をうまく乗り越えられなくて反省することが多いです。

休日はどのように過ごしていますか。

部活ですね。前期硬式テニス部と後期硬式テニス部と中高の両方の部活の顧問をしています。2つあるので、休日も一方が午前、他方が午後の練習だと、一日中部活という日も多いです。

顧問は3人いて、硬式テニスの専門の先生がいらっしゃるの、私は主に前期生を

見たり、ボレーなどの練習を行ったりしています。テスト期間で部活がないときもありますが、そういう時はテストを作ったり採点をしたりするので、あまり休みという感じではないですね。今年の夏休みは、愛媛で大きな大会があったので、1日しか休めませんでした。その代わりに、冬休みは6日ほど休みをいただいたので、授業の準備をしたり、高校や大学の友人と会ったりしました。

在学時について教えてください。

男子ソフトボール部のマネージャーをしていましたが、やはり自分でやりたくなって、女子ソフトボール部を作る活動をしていたこともあります。それと、大学生のときには海外によく行きました。

韓国にタイ、フィリピン、アメリカ、卒業旅行ではドイツ・フランス・スイス。タイは旅行で行ったのですが、韓国とアメリカは、社会学の先生の出張の際、自分も一緒に研修という形で行きました。フィリピンに行ったのは、教育学部で、現地の大学の附属小学校で英語の教育実習をするというカリキュラムがあり、それに参加しました。教材も授業もすべて英語なので、英語の勉強にもなりましたね。でも、もっと行っておけば良かったと後悔しています。



キャンパス内で思い出の場所はどこですか。

自分が所属していた社会科研究室ですね。研究室という名前ですが、学生が集まる部屋という感じでした。授業の前後に気軽におしゃべりをすることもありましたが、教員採用試験の勉強や卒業論文も一緒にやっていました。

教員採用試験のときは、互いに同じ試験問題を解いてその出来を競ったり、黒板に名前と日付と勉強時間を書いて誰が一番勉強したかを競ったり、そうやって同じ教員採用試験を受ける仲間としてモチベーションを高めながら勉強していました。

社会人になって気を付けていること・大事にしていることは何ですか。

健康はやはり大事だと思います。でも、去年は意外と体を壊すことが多くて、インフルエンザやノロウイルスに感染したり、気管支炎になったり、虫刺されて腫れたり、運が悪かったですね。

ただ、気持ちとしては健康に気をつけようと思っています。それから、なるべく朝早く出勤するようにしていて、だいたい7時には学校に来ています。授業の準備をすることはもちろんなんですが、電車の時間等で朝早く来て学校が開くのを待っている生徒もいるので、そういう生徒のためにも朝は早めに来るようにしています。職員室にいと、鍵を取りに来る生徒などたくさん生徒の顔が見えますし、時には硬式テニス部の朝の自主練習に混じることもあります。

愛大生へのメッセージをお願いします。

自分の後悔を挙げるとしたら、大学時代にもっと勉強しておけばよかったと思います。もちろん、授業の内容もそうですが、アルバイトだったりボランティアだったり、それも含めた勉強ですね。

私自身、海外に行く機会はたくさんありましたが、それでももっと行きたかったという後悔はあります。もちろん、海外だけではなく国内旅行もいいと思います。四国遍路を回るといったのもいいですし、私の在学時には震災ボランティアに行く学生もいました。友達と遊ぶことも大事だと思いますが、それよりもっと経験として残ること、自分が見聞きできる経験をしてほしいと思います。本当に、今になって、時間を有効に使えばよかったという後悔が残りますね。

松山市立余土小学校 柳原 紗希さん

(平成27年1月取材)

(2012年3月 教育学部学校教育教員養成課程教育学専修 卒業)
〈現在：松山市立余土小学校 教員〉



子どもたちが好きという理由で教育の道に進み、長い時間、子どもたちと触れ合える小学校教員になることを決めました。

現在の仕事を選んだ理由・きっかけは何ですか。

もともと高校生のときに、子どもたちが好き、という理由で教育学部を選びました。小学生や中学生くらいの頃から、教員という仕事に興味をもっていて、なんとなく教員になりたいと考えていました。

教育学部に入り、学んでいる過程で子どもたちと関わり、教員という仕事をしたいと強く思うようになりました。特に、小学生と関わることが多く、それがきっかけで、小学校の教員になろうと決めました。

中学校や高校は、教科の専門性が深いという良さがありますが、小学校の良さは、なんといっても子どもたちと過ごす長さですね。一日を通して、長い時間を子どもたちと過ごし、子どもたちのことをよく知って関わっていけることが一番の魅力でした。

現在どのような仕事を担当していますか。

1年生の学級担任をしていて、授業をする以外にも、休憩時間には一緒に遊んだり、給食を食べたりします。

私は朝が特に早くて、6時半には学校に出勤するんです。運動場のラインを引いたり、教室の窓を開けて黒板を書き換えたり、授業で使うプリントを印刷したり、そういった学校全体や、自分の学級の様々な仕事をしています。放課後には、その日提出された宿題の採点や、教室内の掲示物の張り替えなども行います。子どもと関わる時間はせわしく腹立たしくもありますが、一番楽しい時間ですね。今年受け持っている

1年生は、学校や集団での生活に慣れるところからスタートするのですが、1年間で大きく成長するのでやりがいがありますよ。

在学時について教えてください。

学生のときは、「ストリートバスケットボール同好会」と「B3」というバスケットボールサークルを掛け持ちしていました。片方の活動が平日なら、もう片方は休日という感じで、日々どちらかでバスケをしていました。

それから、教育学部のフレンドシップ事業という、学生が企画・運営を行う活動にも携わっていて、月に1度、小学生と一緒に勉強したり、ミニゲームで交流したりしていました。毎月新たな企画を行うので、週に何度も話し合いを重ねていました。加えて、「教育アシスタント」と呼ばれる、授業の補助をする活動のために、小学校にも毎週通っていましたね。その他、居酒屋でアルバイトもしていたので、在学時はとにかく忙しかったです。



〈在学時の写真〉

社会人になって気を付けていること・大事にしていることは何ですか。

社会人としてというよりも、まだ3年目の自分が、社会人に成り立てということで大事にしているのは、「気付いたら動く」ということです。

学校の中での教員という組織は特殊で、子どもから見るとベテランの先生も新米の先生も、みんな「先生」なんですね。だから、先生同士の関係もわりとフラットなんです

ですが、何十年と続けられているベテランの先生と自分が同じ立場というのは、ちょっと恐れ多いですよ。それで、この3年間で自分の中で考えて形にしたこととして、自分ができることをできるだけやるという意味で、なるべく自分が「気付いて動く」ということを大事にしています。自分から積極的に動くことで、身につくことも多いですね。

愛大生へのメッセージをお願いします。

教育を学びながら、サークルを掛け持ちして、フレンドシップ事業に携わって、バイトもして、いろいろなことを一生懸命に楽しく経験したことが、教員という仕事だけでなく、生き方の土台にもなったと思います。

社会人になって一番思うのは、「時間がない」ということなんですね。今は、大好きなバスケットボールも月に1~2回しかできなくなりました。また、バイトでしていた飲食業も、今後携わることもなんてないと思うんです。それから、教育学部での授業や、フレンドシップ事業などでは、教育に関することに自分の納得がいくまでしたいことができました。

だから、学生の皆さんには、自分がやりたいことを一生懸命に熱心にやってほしいですね。



(株)愛媛銀行 中藪 清嵩さん

(平成27年3月取材)

(2009年3月 法文学部総合政策学科 卒業)

〈現在：(株)愛媛銀行 ひめぎん情報センター〉



入社した当初は金融の知識がなく、ゼロからのスタートでしたが、先輩・上司のアドバイスやスキルを習得しながら日々スキルアップを図っています。

現在の仕事を選んだ理由・きっかけは何ですか。

出身が伊予市で、生まれてからずっと愛媛で育ち、高校卒業後も愛媛大学に進学しました。生まれ育った街に貢献したいという思いが第一にあり、県外企業は考えていませんでした。

もともと銀行を志望していたわけではなく、愛媛銀行の他にも何かエントリーはしていました。ただ、愛媛銀行の経営理念の最初に「ふるさとの発展に」という言葉があったので、ここなら自分が生まれ育った街のために働けるという漠然としたイメージがあり、就職を決めました。当時、銀行業務についての知識は全くと言っていいほどありませんでした。実際に勤務してからも、大学での勉強が直接結びついたなと思うことは少なく、入行してゼロから全てを学びました。

現在どのような仕事を担当していますか。

ひめぎん情報センターはその名の通り、情報の収集や分析を行っている部になります。私も昨年の8月に転勤してきたばかりなんです。この異動が初めての本部勤務で、銀行の一般的な業務とかけ離れたところがあるので、私自身、戸惑うことも多いです。

具体的な仕事の内容としては、愛媛県の個人の方々にアンケートを取ったり、「ひめぎん情報」という外部向けの情報誌を作ったりしています。私が最初に担当したのは、愛媛県のOLさんに、貯金やお小遣いはどれくらいとか、何に使っていますかというアンケートを行い、分析しました。その他に



は、各自治体に訪問し、問題解決のお手伝いやインターンシップの受け入れも担当しています。

休日はどのように過ごしていますか。

基本的に土日と祝日がお休みですが、自宅で一日のんびり過ごしたり、資格試験の勉強をしたりすることが多いです。もちろん、友人と飲みにも行きますし、スポーツも好きでバスケットボールやスノーボード、ゴルフをすることもあります。

なぜ休日に資格試験の勉強かというと、銀行の業務上必要であったり、昇進にも関わってくるからです。本当は、計画的にコツコツ勉強したいのですが、実際は土日に集中的に勉強することが多いです。また、当行は1年に1回、5営業日の休暇をいただける、連続休暇があります。昨年の連続休暇は、妻の実家の高知県で過ごしました。

在学時の所属サークル・部活について教えてください。

囲碁部に所属していました。当時は部室が将棋部と一緒にあったので、大所帯でとても楽しかったです。ただ、居酒屋のアルバイトをしていて、昼夜逆転の生活だったのであまり顔は出せていませんでした。高校生の頃から囲碁をしていました。自分で言うのもなんですけど、めきめきと実力をあげて、大学時代は全国大会に出場しました。全国大会では全敗でしたが(笑)。今でもプライベートで囲碁をしています。愛媛銀行が囲碁の普及に力を入れていて、ひめぎんホールで愛媛囲碁フェスティバルやこども囲碁大会を開催しています。私も率先してイベントの運営に携わっています。そのときはもちろん打たないんですけど、見てだけでもすごく楽しいですよ。

社会人になって気を付けていること・大事にしていることは何ですか。

当たり前ですが、上司の話を聴くことです。上司は、今後自分が積み重ねていくことを経験してきた方々なので、上司からのアドバイスはその場で流さずに、ちゃんと自分のものにするのが大事だと思いますね。

一番響いたのは「仕事は自分1人では完結しない」ということですね。書類作成なども含めて自分だけの仕事はないので、次の人やチームのことまで考えて仕事をしろと言われたときはハッとしました。締切と関わっている人数から逆算して自分の仕事に取り組むようにしています。また、融資などでは、お客様とのやりとりが大事なので、上司とお客様との対応をこっそり聞いて、話の組み立て方や声のトーンを真似して自分のものにしました。

**愛大生へのメッセージをお願いします。**

大学の4年間を有意義に過ごして欲しいと思います。自分が興味を持ったことにどんどん取り組んで、その中で会う人との交友関係を大事にして欲しいですね。学業や部活、趣味、バイト、いろんな経験から会う人たちとの交友関係が社会人になってから役に立つことが大いにあります。私も実際に社会に出てから、友達から思わぬ情報を得たり、違う業界の話を知れたりなど、仕事でもプライベートでも、助けたり助けられたりしたことが多くありました。学生の本分は学業ですが、アルバイトや部活を通して得られるものもたくさんあります。少しでも多くの経験をして、いろんな人と出会い、これからの人生を豊かにできる学生生活を送って下さい。

愛媛大学 山本 志穂里さん

(平成27年3月取材)

(2012年3月 法文学部総合政策学科 卒業)

〈現在：愛媛大学 取材時：教育支援課 理学部チーム

(2015年4月～医学部 経営管理課)〉



愛媛に居たいとの思いで、母校・愛媛大学で後輩たちのサポートする立場を選びました。日々の業務の中でも相手を思う工夫を怠りません。

現在の仕事を選んだ理由・きっかけは何ですか。

大学入学時から公務員に興味をもっていたので、3年生になってから公務員講座を受け勉強を始めました。また、就職活動を始めるときにまず思ったのが、愛媛に居たいということです。

そのため、公務員の勉強をしながら、地元で就活をしていました。愛媛大学を志望したのは、自分もこの大学に通っていてとても居心地がよかったからです。引き続き母校である愛媛大学で、今度は学生をサポートする立場になりたいと思って受けました。最終的な決め手になったのは、いくつか受けた中で、愛媛大学から一番に内定をいただいたことですね。やはり、最初に声をかけていただいたのが格別に嬉しく、愛媛大学で働こうと即決しました。



現在どのような仕事を担当していますか。

3年目の今は、学部生の教務（履修の手引きや時間割の整備、お知らせの掲示、学生や保護者・授業担当の教員からの相談など学生や授業に関わること）を担当しています。

これまで一年毎に業務が変わっていて、1年目は大学院生の教務を担当しながら大学院入試も担当しました。2年目は教育支援課で学部入試に携わっていました。センター試験や、各学部の前期・後期日程などで、試験当日の1日のスケジュールを組んだり、教職員の方に指示を出して当日の運営をしたりする仕事です。入試の仕事は業務量が多く、一番きつかった一方、すごく

成長することができ、スケジュール通りにこなすこの仕事が、自分にもっとも向いていると思いました。

休日はどのように過ごしていますか。

休日はよく車好きの仲間と一緒に山奥や深谷をめぐります。一番好きなのは高知の仁淀という深谷です。「仁淀ブルー」と呼ばれる透き通った水を見ることができるとのことです。

道も険しいので、行くだけでもすごく達成感がありますよ。自然を鑑賞してリフレッシュしたり、写真を撮ったりもしますが、車で走ることも目的の一つなので、自分でも運転して、いろいろな所に行きます。県外の友人に会いに行くときも車でいきますよ。運転しているときは、何も考えなくていいので楽しいですね。車が好きということでは、2月にアイテム愛媛の輸入車ショーにも行ってきました。

在学時について教えてください。

大学では授業料など必要なものはすべて自分でやりくりをしていました。大学に入学した時点で就職活動や海外旅行、公務員講座のために必要なお金を計算して、そこからアルバイトを決めて働きましたね。

奨学金も受けていましたが、スーパーのレジのアルバイトに力を入れていて、週に5～6日は働いていました。お金を貯める苦勞を知ったり、学外のコミュニティを築けたり、アルバイトからはいろいろなことを学べました。在学中に絶対に海外旅行もしたくて、シンガポールと台湾に行きました。台湾では若い人の多くが日本語を話していて自分も勉強を頑張ろうと思えました。シ



〈在学時の写真〉

ンガポールは、様々な文化が共存していて、そういう違いが刺激的でした。

社会人になって気を付けていること・大事にしていることは何ですか。

受信相手の立場になって考えることですね。現在担当している仕事では、学生へのお知らせを掲示だけではなく、修学支援システムのメッセージでも通知しています。

掲示物の本文をそのまま送っただけでは分からない学生もいるので、補足を加えて送信するようにしています。また、窓口には様々な提出物のボックスがありますが、何をどのボックスに入れるのか、必ず出さなければならない提出物はどれかが一目で分かるように、ポップをつけるなどの工夫もしています。そうすることで、学生も混乱することなく提出でき、私も催促をしなくて済みます。相手の立場になって考えることが、ウィンウィン (Win-Win) の関係を作り、自分の仕事も結果的に少なくなるんですね。

愛大生へのメッセージをお願いします。

愛大生に限ったことではありませんが、やっぱり学生時代が一番、時間がたっぷりあるので、海外旅行もそうですが、自分がやりたいこと、学生のときにしかできないことに時間を割いてほしいと思います。

社会人になると仕事が優先になってしまうので、海外旅行もそんなに行けるものではないですし、趣味に時間を割けるものでもありません。学生のうちに遊ぶだけ遊んで、勉強以外にも時間を注いでほしいなって思います。自分のことを振り返っても、学生時代はそれなりに濃い生活を送れたと思います。もうちょっと海外旅行に行っておけばよかったと思います。特に遠方は1週間くらいかかるので、ヨーロッパとかに行けたらよかったですね。

DCMダイキ(株) 岸 愛恵さん

(平成27年6月取材)

(2012年3月 法文学部人文学科卒)

〈現在：DCMダイキ(株) 総務・人事部 採用・教育課 主任〉



面白いことをしたいと選んだホームセンター業界。転職した土地での販売スタッフや、採用・教育担当など多くの経験を積んできました。

現在の仕事を選んだ理由・きっかけは何ですか。

愛媛出身なので、愛媛に恩返しをしたいという大げさですが、地元貢献がしたいので、愛媛に本社がある企業を中心に選んで就活していました。そもそも、就職活動をそんなにたくさんしてなくて、絞ってやっていたね。もともと色々なことに対して興味があったので、せっかく仕事にするのであれば、面白いことをしたいなという思いもありました。その中で、ホームセンターであれば、自転車であったり、ペットであったり、普段触らないものもたくさん売っていますので、色々な知識が身につけて、面白そうだなと思って、ホームセンターという業界を選んだんです。その業界で愛媛に本社があるのはDCMダイキだったので必然的にここに決めました。

現在どのような仕事を担当していますか。

採用教育課というところで、新卒採用やアルバイトやパートの求人手続きという採用面の業務と、DIYアドバイザーなどの資格取得講座や研修の手配といった教育面の業務を行っています。

入社直後の1年半は徳島の店舗で販売のスタッフをしていました。その後、1年ほどHPやポイントカード制度の管理を行う部署にいて、2014年9月に今の部署に来ました。同じ会社でお店の経験だけでなく、HP関連のシステムチェックなどができたり、対外的な採用活動に携わったりと色々なチャンスを与えてもらって、部署ごとの楽しさややりがいを感じつつ、たくさん勉強



させてもらってます。いつかはお店に戻ってここでの経験を生かしたいですね。

在学時の所属サークル・部活について教えてください。

法文バスケットボール部というサークルに1回生の初めからずっと入っていました。もともと家族がバスケをしていた関係で、小学生からずっとバスケをしていて、それを続けたくて入ったんです。

法文バスケは結構大所帯だった記憶がありますが、毎回の参加者はあまり多くなく、大会とかもなかったのでバスケをしたいメンバーで気軽に楽しんでいました。球技全般が好きだったので、大学生の途中からはスポーツ愛好会というサークルとも掛け持ちをして、バスケだけでなくいろいろなスポーツを楽しんでました。こちらはこじんまりとした団体でしたが、気分によってバレーボールやサッカーなどメンバーがそれぞれやりたいことを自由にやっていました。

在学時について教えてください。

大学では塾講師のアルバイトをしていました。

自分がもともと通っていた塾だったので、大学生になったとき、教えることが好きだったこともあって、塾の講師をやってみようと思いました。

教えていた教科は国語や英語、歴史など文系科目が中心でしたが、中学までの数学なども教えていました。小学生の算数は、頭の固くなってしまった大学生では意外と解けない問題もあって、大学に持って行って友人と一緒に考えたこともあります(笑) 教えるということは自分も理解していないといけませんので、自分にとってすごく勉強になりました。塾講師のバイトのおかげで、就活の際にSPIなどの試験対策をほとんどする必要がなかったのもよかったです。

ご自身の就活対策や、現在採用担当になって思うこと、また就活生へメッセージをお願いします。

私の場合、塾講師のアルバイトのおかげで筆記試験対策をする必要があまりなく、面接対策に力を入れていました。企業のHPを見るなど、手に入れられる情報を基に、なぜ入りたいかというところをしっかりと考えました。自分の就活で後悔しているのは、就職支援課などをもっと利用して、OB・OG訪問を

積極的にすればよかったということですね。先輩の生の声ですごく大事な情報だと思うので、学生の皆さんにはぜひ知っていただきたいです。採用担当になっても、やっぱり「なぜこの会社に入りたいのか」を重視しています。入社後に伸びる可能性が感じられるのは、志望動機や将来のビジョンがはっきりしている学生の方なんです。

学生の中には、転職に対してマイナスのイメージを抱いている人が多いと思います。私もその一人でしたが、やってみると、一人暮らしも楽しいですし、知らない土地で暮らすことによって知ることもたくさんあります。

一人暮らし自体も初めてだったので、自炊や防犯はもちろん、そもそも生きていけるのか、不安ばかりでした。でも暮らししてみると何とかなりますし、特に料理は結構こだわる方で、何時間も煮込んで豚の角煮を作ることもありました。転職した徳島・吉野川市の温厚な人柄も幸いして、最後は松山に帰るのがさびしく感じるほどでしたね。知らない土地での暮らしは不安だと思いましたが、チャンスだと思って前向きに捉えてほしいと思います。

社会人になって気を付けていること・大事にしていることは何ですか。

4年目になると、気が緩みがちになってくるので、しっかり引き締めていこうと思っています。今の部署も1年が過ぎて、日々のルーチンにも慣れましたが、慣れた頃に一番失敗するんですよ。

私もつい最近失敗してしまったので、分かっていることでも何回も見直すようにしています。それと、言われたことだけをするのではなく、自分で考えて動くということも大事にしています。1年目は分からないことばかりで、言われたことをやるのがいっぱいだと思います。でも、4年目の今はもう新人と呼ばれる時期でもないのだから、「まだですか」って待つだけではなく、自分から「こうした方がいいんじゃないですか」って動くように心がけています。

J A えひめ中央 西田 仁志さん

(平成27年7月取材)

(2014年3月 農学部農産漁村地域マネジメント特別コース 卒業)
 (現在: J A えひめ中央城南営農支援センター 営農指導員)



幼い頃からなんでも自分でするのが好きで、実家が農業であることをきっかけにこの仕事に就くことになりました。

現在の仕事を選んだ理由・きっかけは何ですか。

実家が農業をしていたというのは大きく、かかわりの深い仕事に就こうと思っていました。栽培技術指導の仕事に就くことで、自分の栽培技術を磨き、農業の経験を積むことができます。

農業の仕事に就くことを意識し始めたのが中学生の頃で、農業についての勉強をもっと深めたかったので高校は農業高校を選びました。ちょうど自分の学びたいコースがあったので、愛媛大学の農学部に進学することも高校2年生で決めていました。いずれは実家の農業を継ぎたいと考えていますが、まずは技術を身につけ、伝えていくことができる仕事に就こうと考えました。実家にも貢献でき、地域とのつながりを深めることができるというのが、J A を選んだ一番の理由ですね。

現在どのような仕事を担当していますか。

営農指導員のメインの仕事は作物の栽培技術の指導です。種や苗の育て方だけでなく、土の中の成分や何を植えるかで、どの肥料を使うかなど、土作りの指導もします。作物につく病原菌を予防することもあり、お医者さんのような役割もあります。畑ごとに土の性質や気候が違うので、先輩や農家の方から教えてもらうことも多いです。また、営農部の指導員はそれぞれ担当の品目があり、私は「伊予なす」を担当しています。さらに、作物ごとの部会があり、栽培時や出荷時に農家の方に講習をしたり、それ以外の活動をサポートしたりするほか、



家庭菜園の相談も受けるので、様々な種類の作物についての知識が問われます。

在学時について教えてください。

アルバイトがサークル代わりという感じで、スーパーで販売のアルバイトをしていて、商品の仕入れやレジ打ちをしていました。

3回生の頃には、引越しや棚卸し、ライブの設営などのアルバイトも掛け持ちしていました。稼いだお金はバイクにつき込み、1回生から2回生にかけて部品を少しずつ購入して、一からバイクを組み立てたこともあります。そのバイクで、学生時代の長期休暇には四国一周をしました。機械の組み立てに関してはもともと興味があって、高校は機械科に進学しようと思ったこともありましたが、自分で作るのが好きだと思いましたが、バイクを組み立てたことで機械には満足したので、農業に専念しようと思うようになりました。



〈在学時の写真〉

社会人になって気を付けていること・大事にしていることは何ですか。

農業に携わっている方はもちろん、職場でも年上の方ばかりですから、一番は目上の人を敬うことですね。仕事が始まる20分前には入社するなど社会人として心がけています。

また、農家の方の中には、自分のことを息子や孫のように親しみをこめて接してくれる農家の方もいます。だから、誰に対しても嘘をつかないことや、素直であることも大切ですね。それと、農業の現場では、教科書の知識では対応できないことも多く

さんあるので、わからないことはメモを取ることも大事です。メモしたことは必ず調べますし、農家の方が欲しがっている情報や必要な情報もメモしておいて、次の訪問では調べて伝えるようにしています。

自身の就職活動などの経験を踏まえて愛大生へメッセージをお願いします。

私は就職活動ではあまりたくさん企業を受けていませんが、それでよかったと思っています。

というのも、とりあえずとっちらかっている企業を受けるとそれぞれの志望動機を考えたり、準備することや対策に追われたりして、「絶対にここで働きたい」というのが見えなくなってしまうと思います。就職活動での後悔をあげるとしたら、動き始めるのが遅かったことですね。自己分析であったり、SPIなどの試験対策であったり、準備することがたくさんあって、就職活動が解禁されてからだ遅いので、早めに動いたほうがいいと思います。企業がどんな人を求めているのかといった情報をたくさん仕入れて、自分が働きたいと本当に思ったところに絞って就職活動に臨んでいってください。



井関農機(株) 奥村 和哉さん

(平成27年11月取材)

(2008年3月 農学部生物資源学科情報生産コース 卒業)

〈現在：井関農機(株) コンバイン技術部〉



モノづくりの楽しさを感じながら日々働いています。大学時代の専攻と違う分野の仕事ですが、必要な知識やスキルは入社後身につけました。

現在の仕事を選んだ理由・きっかけは何か。

元々は高校の農業教員を目指し、教員免許を取得したものの、農業高校が年々少なくなり募集人員が減っているという現状がありました。それらも含めて、自分がやりたいことを再度考えたとき、農業機械を通じた農業へのかかわり方に気づきました。

農業機械といえばまず井関農機が思い浮かびました。元々、実家が農家で、使用している機械が全て井関農機製のものだったんです。地元で就職したい気持ちもあって、井関農機を受けました。他にも、教員ではないのですが、塾講師も受けました。今では、教えるというよりは自分で何か物を作る方が向いているとわかっているのので、この仕事で良かったと思いますね。

現在どのような仕事を担当していますか。

コンバイン技術部に所属して設計などを担当しています。私は農業分野を専攻していたので、設計という分野は難しいかなと思っていたのですが、研修後にコンバインが作りたいたいという希望を出したところ配属されました。

コンバインとは稲を刈り取り、それを漕いで、排出して籾袋に入れる作業をする機械になります。設計では刈り取り部、脱穀部、走行部に分かれており、自分は全体の操作に関わる走行部に所属していて、運転のハンドルや足回りの設計をしています。コンバインは基本的に車のようなタイヤではなく、クローラーというキャタピラーのようなもので走ります。そこの設計の中でも電気系統の制御を主に担当しています。

コンバインは2年に一度、新型が販売されています。新しい製品を作り続けなければならないという意味では、設計者という仕事は大変だと思います。

コンバインを作る際、まず上層部から来る案を、設計を担当する我々がどうすればそのように機能するのかを考え図面におこし、試作機を作ります。その試作機をもって、沖縄から北海道までの農家さんのところへ稲刈りの試運転に行きます。ダメなところがあれば持ち帰り、直してまた稲を刈りに行くといった繰り返しですね。最後は社内で耐久試験などを行い、クリアできたら量産して新型のコンバインが販売されま

す。自分が作ったコンバインが評価されると嬉しいですし、やりがいにもなります。

在学時の所属サークル・部活について教えてください。

一年ほど硬式のテニスサークルに所属していましたが、大学までは軟式テニスしかやったことがなかったので、硬式テニスが合わなくて辞めました。

私は附属高校出身で、当時所属していた軟式テニス部が練習しているコートが農学部内にあるので、サークルを辞めてからは、授業が終わったら部活に顔を出して高校の後輩たちと練習に参加していました。大学ではサークルよりもアルバイトの方を優先し、4年間同じ飲食店で働きました。アルバイトを続けるうちにのめり込んでしまい、最終的に調理師免許を取得しました。豚カツメインのお店だったのですが、授業が終わったら高校生とテニスをして、夜はアルバイト先で豚カツを揚げていました(笑)



〈在学時の写真〉

キャンパス内で思い出深い場所はありますか。

研究室ですね。グラインダーを削り出したり、穴を空けたりといった加工の作業ができる特殊な場所だったのでよく覚えてます。

研究室では機械の組み立て作業をよくやりましたね。組み立てる機械の設計まではやらなかったのですが、井関農機などの農業機械専門の人たちと共同研究といった形で、実験データを取っていました。大学時代を通して、研究室では機械を組み立てて、アルバイト先で調理をしていたので、やはり当時からなにか物を作ることが好きでした。研究室の作業が終わればすぐにテニスをしてアルバイトへ行くという流

れだったので、キャンパス内にいる時間というのは少し貴重だったかもしれません。

社会人になって気を付けていること・大事にしていることは何ですか。

やっぱりコミュニケーションですね。報告・連絡・相談、「ハウレンソウ」という言葉を耳にしたことがあると思うんですけど、この3つは大事にしています。

特にこの3つは、自分から発信していかないと相手には絶対に伝わりません。私の仕事の場合だと、自分の考えだけで物を作ってしまうと、後々、自分だけでは気づけなかった問題が起きることがあり、取り返しのつかないこととなります。一つ一つ自分の考えていることに対して、一緒に仕事をするメンバーに伝え、その人の意見を聞き、取り入れていくことが大事だと思います。7年間働いてきて、このことは大切にしなければならぬこととして身体に染み付いています。

愛大生へメッセージをお願いします。

繰り返すにはなるのですが、たくさんの人とコミュニケーションを取るようになってください。

就活や入社してからの仕事は、上司や取引先といった、たくさんの人とコミュニケーションを取ることで成り立つものです。私は大学時代のアルバイト先でコミュニケーションを取ることが多かったのですが、その経験は今の職場でも活かしていると思います。皆さんもアルバイト先であつたり、いろんな場面で誰かと働いたり、一緒に作業をしたりすることがあれば、自分の言葉でしっかり伝えるということを意識して取り組むようにしてみてください。またそういった機会を自分からどんどん増やして、コミュニケーション力を高めるよう努めてください。



AT&T シンガポール法人 二宮 瑞樹さん

(平成27年10月取材)

(2011年3月 理工学研究科電子情報工学専攻 修了)
 〈現在：AT&T シンガポール法人〉



海外にもっと触れたいという思いから現在の仕事に就きました。
 仕事や日常で使う英語は学生時代から取り組んでいました。

現在の仕事を選んだ理由・きっかけは何ですか。

大学院修了後はNTTデータというIT系の日系企業で4年間、通信ネットワークの設計担当者として東京で働いていましたが、3～4年目で海外案件を担当した際、日本とは異なる文化や商習慣を持つ方々と仕事をする際の難しさや、それを工夫して乗り越える楽しさを感じました。

そこで、日本の会社では常に海外案件に携われる訳ではないのと、英語力も向上させたいという考えから、思い切ってシンガポールにある現在の会社（アメリカ系企業）に転職しました。シンガポールを選んだ理由としては、公用語が英語であること・生活水準が高く安全であること・日本に比較的近い、といったところです。

現在どのような仕事を担当していますか。

世界中の顧客（法人）拠点間を結ぶグローバルネットワークを提供している運用担当にあたるため、ルータ等の中継機器や通信ケーブルに問題が発生した際のトラブルシューティングを行っています。

トラブルシューティングの結果、自分たちで遠隔地から直せる場合は対応し、機械の故障等と判断した場合は現地国の委託会社に機械の交換を依頼します。チームには私の他にも日本人はいますが、シンガポール人、中国人、韓国人、ミャンマー人、フィリピン人と国際色豊かです。それぞれバックグラウンドが異なるのは当然ですが、専門知識も異なるため互いに教え合いながらチーム全体の技術力を高めていっています。



リンゴの早食い競争

在学時について、聞かせてください。

私はサークルには入っておらず、プライベートはよく麻雀をしていました。すごく熱中していた時期は週に何度も徹夜でしていました。麻雀は、3人か4人でテーブルを囲んでするので、いろいろな人と出会う機会も多く、交友関係がそこで広がっていった気がします。

バイトは居酒屋、家庭教師、コールセンターの電話営業、パソコンでの事務処理などをしました。これらの経験はすべて普段の業務の役に立っていると思っています。

ご自身の就職活動について教えてください。

情報工学を専攻していましたが、プログラミングに苦手意識を感じていたため、プログラミングをあまりしない通信ネットワークの分野で就活することにしました。また、研究室でも通信ネットワークの研究を行っていました。

加えて、英語を喋れるようになりたかったため日本だけでなくグローバル展開を行っている企業に的を絞って活動しました。英語については元々興味があって在学時から語学学校に通っていました。TOEICは当時840点でした。

就活を始めると英語のできるエンジニアの需要が多かったように思います。自分の強みは通信ネットワークと英語という二つの軸と感じていたため、たまたまかもしれませんが英語を勉強していたことで企業選択の幅が広がったように思います。その結果として、自分の軸に合った前職に就きました。その後、もっと海外で研鑽したいと思ったので転職したという感じです。

シンガポールについて教えてください。

赤道付近の国なので暑いイメージがありましたが、交通網が発達していることもあり、あまり直射日光に当たらないため暑くて辛いということはないです。

物価については家賃や日本食が高いのが辛いですが、給与水準が高く、所得税が安かったり住民税が無かったりするので暮らしやすいと思います。勤務体系については、シンガポールにある企業全体的に残業が少ないのが特徴だと思います。例外もあるようですが、日本との大きな違いだと思います。他にもテレワークが進んでいるように見えますね。

社会人になって気を付けていることはありますか。

特にシンガポールに来てからですが、将来についてよく考えるようになりました。今の会社は外資系ということもあってリストラも簡単に起こり得ますし、シンガポール自体が転職文化なので、ほとんどの人が3～4年ごとに転職してキャリアアップしていきます。また、以前行っていた一部の業務が、人間に代わって機械ができるようになってきています。

このように一度会社に入れば安泰ということはないので、目の前の業務を遂行するだけではなく、中長期的な将来のありたい姿を見据えながら日々努力していくことが必要だと思っています。



ナイトクラブを貸し切って開催された飲み会

愛大生へメッセージをお願いします。

大学生活は日々の授業や勉強、サークル活動、アルバイト、飲み会等で忙しいと思いますが、それを理由に本来やりたいことができないということがないように取捨選択すると良いかもしれません。たとえば短期留学をしたくてその費用を捻出したいのであれば、飲み会を減らしてその分バイトを掛け持ちしたり、勉強して成績を上げて奨学金をもらったり等です。

社会人になれば、一般に時間が足りないため仕事でもプライベートでも無意識に優先順位を決めて取り組むようになりますが、学生のうちから物事の優先度付けを行い、優先度の低いものを思い切って切り捨てることができれば、より密度の高い学生生活になると思います。これはそういう自分自身が当時できていなくて後悔していることなので、反面教師としてのメッセージとなります。(笑)

東京会場

平成28年10月15日(土) 16:00～ 場所：グランパークB1 百代茶屋（田町店）

「全員集合」は、愛媛大学を卒業し首都圏で働き始めた新社会人を同圏の愛大OB・OGが歓迎し、新生活を応援するとともに校友会会員間のネットワークの拡大を目的に開催しています。

本年度は、10月15日(土)の16時から「グランパークB1百代茶屋（田町店）」で開催し、新社会人の参加ははみませんでした。若手卒業生8人を含む13人が参加しました。今回は大学から就職支援課岡課長に出席いただき講演やグループワークをしていただきました。また、首都圏支部幹事の大村さん（法文学部卒）が世話人となり司会進行を務めました。

第Ⅰ部では校友会事務局から挨拶の後、参加者全員の自己紹介があり、岡課長から就職後のサポートとして、キャリアとはというテーマでこれまでの人生を振り返るとともに今後どうなりたいかなどについて参加者に発表して貰い、今後のキャリア形成について考える有意義な講演となりました。

第Ⅱ部では同会場で首都圏支部役員会に出席した役員も加わり合同の懇親会（参加者24人）を開催しました。懇親会では清水首都圏支部長の挨拶の後、卒業生同士の交流や名刺交換が行われました。また、若手卒業生による「愛媛の特産物争奪じゃんけん大会」を行うなど終止和やかな雰囲気の中で終了しました。



懇親会の様子



じゃんけん大会



景品の愛媛の特産物一覧



合同懇親会参加者

来年は東京、大阪で「全員集合2017」を開催する予定です。日時、場所等が決まり次第校友会ホームページなどでお知らせいたします。当日はカジュアルな服装で構いません。お一人で参加される方も多く、この機会に、是非、卒業生同士の交流を深めてください。

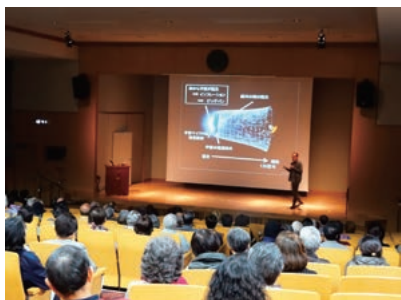
「特定非営利活動法人愛媛大学校友会人材活用センター」の活動

校友会会員（主に退職教員）で構成された「特定非営利活動法人愛媛大学校友会人材活用センター」は、県内の各自治体や教育機関に人材を提供するとともに、広く一般市民向けに学術、文化、芸術、保健等に関する公開講座、講演会等を開催するなど、社会教育の推進と地域の活性化に貢献しています。

●平成28年3月5日(土) 「講演会とアンサンブルの午後」を開催しました。

当日は、暖かい春の日和りにも恵まれて会場一杯の来場者の中、講演会では、愛媛大学宇宙進化研究センターの谷口義明センター長から「宇宙の謎」と題して、138億歳を迎えた宇宙の歴史と今後の宇宙の行方について、美しい宇宙の写真とともに解りやすくご説明いただきました。

アンサンブルの演奏では、「アンサンブル・ローズ&艶山」の皆様の歌・ピアノ・コカリナ・琴・尺八の共演により、さくらさくら、コンドルは飛んで行く、Stand Alone 等13曲が演奏され、来場者は美しい音色に聴き入られていました。



●平成28年5月24日(火) 講演会「アフリカに生きる」を開催しました。

講師の相原功志さんは、埼玉県岩槻市のご出身で2000年3月に新潟大学医学部を卒業後、アフリカケニアのナマンガにおいて同国出身の配偶者とともに、子ども支援活動家として、同国の貧しい子どもたちを対象とした保育園や補修塾等を運営されています。

今回は、同氏の2年に1回の一時帰国にあわせて本学でご講演いただき、150人を超える会場一杯の来場者は、アフリカの生活・文化・教育・貧困等の実態を知るとともに、地域に溶け込んで貧しい子どもたちの支援に取り組む日本人の生き方から、グローバルな視点、教育の原点や国際支援の在り方等について大いに理解を深めることができました。また、講演会終了後に開催されたアフリカの子ども支援バザーにおいては、ご来場の皆さんがマサイ族の民芸品などを次々と購入していただくなど、同氏の支援活動に対する惜しみない協力がありました。



●平成28年5月21日, 7月30日, 9月10日 公開講座「愛媛に生きる～防災・自然・遍路～」を3回シリーズで開催しました。

■第1回目 5月21日(土)の午後開催 テーマ:「災害から家族の命を守る」

まず最初に、愛媛大学防災情報研究センターの二神透先生から「地区防災計画と家庭の備え」と題して、地区防災計画の策定など近隣住民や家庭単位で防災に取り組む重要性等について説明がありました。次に、愛媛大学名誉教授の渡邊政広先生からは、「災害時家庭生活継続計画(LCP)作成のすすめ」と題して、災害時における企業等の業務継続計画(BCP)の家庭版とも言える家庭生活継続計画の策定について、自身の経験を交えながら解りやすく紹介がありました。



■第2回目 7月30日(土)の午後開催 テーマ:「愛媛の自然に親しむ」

まず日本山岳協会上級指導員の城和暉先生から「知って安全、楽しい山歩きー登山の基本技術ー」と題して、最近の中老年や山ガールの登山ブームに伴う山岳トラブルの現状や安全対策、等高線の読み方や山歩きの仕方等の登山の基本技術について、実践モデル写真を交えて具体的な解説がありました。また、愛媛大学ミュージアム元教授の酒井雅博先生からは、「身近な愛媛の昆虫と生物多様性」と題して、生物多様性とは何か、生物多様性の重要性、自然破壊や地球温暖化、外来生物等による種の絶滅や生態系の崩壊の危機にさらされている現状説明と身近な愛媛の昆虫について、写真を交えながら紹介されました。



■第3回目 9月10日(土)の午後開催 テーマ:「四国遍路と世界の巡礼」

同講座では、まず愛媛大学名誉教授の内田九州男先生から「四国遍路の歴史」と題して、四国八十八カ所の成立問題や遍路者への援助システムである村送り、村継ぎ送り等について説明がありました。また、愛媛大学名誉教授で福山人間文化学教授の山川廣司先生からは、「サンティアゴ巡礼の歴史」と題して、中世ヨーロッパにおける巡礼地の紹介やサンティアゴ・デ・コンポステーラの歴史、巡礼者数の推移等について、巡礼地の写真を交えながら説明があり、約160人を超える来場者は大いに理解を深められました。



NPO 法人愛媛大学校友会人材活用センター主催
公開講座
「愛媛に生きる～防災・自然・遍路～」
入場無料

★第1回目 「災害から家族の命を守る」
日 時: 平成28年5月21日(土) 13:30～16:20
①「地区防災計画と家庭の備え」
愛媛大学防災情報研究センター 准教授 二神 透
②「災害時家庭生活継続計画(LCP)作成のすすめ」
名誉教授 渡邊 政広

★第2回目 「愛媛の自然に親しむ」
日 時: 平成28年7月30日(土) 13:30～16:20
①「知って安全、楽しい山歩きー登山の基本技術ー」
大阪府山岳連盟、日本山岳協会上級指導員 城 和暉
②「身近な愛媛の昆虫と生物多様性」
愛媛大学ミュージアム 元教授 酒井 雅博

★第3回目 「四国遍路と世界の巡礼」
日 時: 平成28年9月10日(土) 13:30～16:20
①「四国遍路の歴史」
愛媛大学名誉教授 内田 九州男
②「サンティアゴ巡礼の歴史」
愛媛大学名誉教授・福山人間文化学教授 山川 廣司

～ お問い合わせ先 ～ TEL: 089-927-8610 E-mail: office@koyu.shime-u.jp
愛媛大学校友会事務局 携帯: 080-2898-3060 http://koyu.shime-u.jp/NPO/

校友会では、毎年、子規俳句カレンダーを製作しています。卓上タイプで、両面使用可能です。(片面は写真メイン、もう片面はスケジュールを記入することが出来ます。)

学長が選句した正岡子規の俳句と、大学職員が撮影した四季折々の愛媛県内などの写真、そして英訳で構成されております。このカレンダーが国内外の皆様と愛媛大学、愛媛県や子規との出会いの機会になればと思います。

2017年版

1月 初空に去年の星の残りかな



石鎚山 夜明け

4月 入口も桜出口も桜かな



松山城 太鼓門

7月 夏草やベースボールの人遠し



愛媛大学硬式野球部 全日本大学野球選手権大会

10月 一ひらの雲の行へや秋の山



石鎚山 西側斜面

2月 わらしの緒結び直すや山椿



岡山県 岩井畝の大椿

5月 我窓にうつる青菜の青さかな



愛媛大学 城北キャンパス

8月 秋近し朝良の花ニツ咲く



松山市内 朝顔

11月 行く秋の我に神無し佛無し



ルリビタキ (伊予市森林公園)

3月 まり投げて見たき広場や春の草



道後温泉駅前 正岡子規銅像

6月 日本の國ありがたき青田哉



内子町泉谷地区 棚田

9月 小山田に秋をひろげる鳴子哉



久万高原町 かかしの里づくり

12月 凧車道に冬木の影の並びけり



道後温泉駅舎 坊っちゃん列車

【会員限定プレゼント】

■子規俳句カレンダー 2017

愛媛大学校友会「2017年版子規俳句カレンダー」を校友会会員様に限りプレゼントいたします。

詳細・応募につきましては12月中旬に校友会ホームページにてご案内いたします。先着200人(予定)としておりますのでお早めにご応募ください。



■梟の昼寝 (柳澤康信 前愛媛大学長 著)

柳澤前学長が学長在任2期6年間に、子規俳句カレンダー用に選句された72の全句にその時々々の想いを執筆され、自費出版されました。

ご希望の会員様には、この本を贈呈いたします。先着100人(予定)詳細・応募は12月中旬に校友会ホームページから。



第6回ホームカミングデイを開催しました。

愛媛大学と共催して、平成27年11月14日(土)に、第6回愛媛大学ホームカミングデイを開催し、卒業生や本学学生、及び教職員OB合わせて300人を超える会員が参加しました。

【プログラム】

13:00～ 同時開催イベント

- ミュージアム見学
- 植物工場見学



15:00～ 式典(南加記念ホール)

司会: 合田みゆき氏(フリーアナウンサー 教育学部卒)

- 学歌斉唱・・・愛媛大学合唱団
- 学長挨拶・・・大橋裕一学長
- 特別講演『四国遍路を楽しむーチャレンジ1400kmー』
寺内 浩教授
(愛媛大学法文学部附属四国遍路・世界の巡礼研究センター長)
- 卒業生挨拶・・・越智 陽一氏
(株式会社ジョイ・アート代表取締役社長 工学部卒)
- 学生サークル紹介・・・チアリーディング部、合唱団

17:00～ 懇親会(大会館1階)



今年で6回目となるホームカミングデイは、愛媛県のマスコットキャラクターの「みきゃん」も駆けつけるなか、正門からグリーンプロムナード、グリーンプラザなどがリニューアルされたキャンパスに300人余りの参加者の皆様が母校に足を運んでいただき、キャンパス内の学生祭と相まって活気あふれる一日となりました。

南加記念ホールで行われた式典では超満員となり、パイプ椅子で補助席を作るほどの盛況ぶりでした。

式典では、愛媛大学合唱団の学歌斉唱に続き、大橋裕一学長より挨拶と愛媛大学の最近の動きについて講話がありました。

続いて本学法文学部附属四国遍路・世界の巡礼研究センター長の寺内浩教授の特別講演、その後、卒業生を代表して、株式会社ジョイ・アート代表取締役社長(工学部卒)越智 陽一氏の挨拶があり、会場から大きな拍手が送られました。最後に学生サークル紹介ではチアリーディング部と合唱団に出演してもらいました。若さ溢れるパフォーマンスや合唱団の美しいハーモニーに会場から盛大な拍手があり式典を終えました。



大会館で行われた懇親会では大橋学長の挨拶の後、森本校友会会長の挨拶と乾杯により開演しました。

懇親会には250人余りが出席し、本学のオリジナル品(媛の酒、えみか粗挽きウインナーソーセージ)や本学南予水産センターと愛媛県が共同で研究開発を進めている「スマ」のにぎり寿司などが振る舞われ、参加者は舌鼓を打ちました。

また、今回は学生団体活動報告が行われ、「硬式野球部」、「女子サッカー部」、「合唱団」がそれぞれ活動報告を行いました。

引き続き5人のラッキーな方に「愛大のオリジナル商品」が贈呈される抽選会では、当選者が読み上げられると歓声やため息が出るなど大いに盛り上がりました。最後に主催者を代表して仁科理事・副学長(校友会担当)から挨拶と乾杯があり閉会しました。

第7回ホームカミングデイ | 平成28年11月12日(土)13時～ | 場所: 愛媛大学城北キャンパス

〈プログラム〉

式典(南加記念ホール)

15:00～ 第1部

- 学歌斉唱
- 学長挨拶
- 新学部紹介 西村 勝志 社会共創学部長
- 特別講話
「地震と道後温泉～謎解き道後温泉史～」
高橋 治郎 愛媛大学名誉教授(NHKプラタモリ出演)

16:15～ 第2部

- サークル紹介 チアリーディング部
- スペシャルコンサート ダンディーズ・
附属小学校コーラス部

17:15～ 懇親会

開催の様子は次号で報告いたします。

首都圏支部だより

★校友会首都圏支部事務局は、
平成28年4月に船堀へ移転しました。

新事務局

〒134-0091
東京都江戸川区船堀3-5-24
コラボ産学官プラザin TOKYO 5階
(都営新宿線船堀駅 徒歩3分)
tel 03-3877-4677
E-mail sattokyo@stu.ehime-u.ac.jp

平成28年3月19日(土)
就活ツアー(東京コース)参加学生との情報交換会を開催
しました。▶詳細につきましては10ページをご覧ください。

平成28年6月4日(土)
第5回首都圏支部定時総会を開催しました。



平成28年6月4日(土)14時30分からグランパークプラザ4階の401ホール(港区芝浦3-4-1)において第5回定時総会を開催しました。総会には森本校友会会長をはじめ、首都圏に在住する会員41人が出席しました。

定期総会では議長に馬場支部長を選出し、事業報告及び収支決算案、事業計画及び予算案、支部役員改選などの議案が審議されました。

また、次期支部長には清水栄治氏(法文学部卒)が選任されました。

総会終了後、仁科弘重理事・副学長による「愛媛大学の近況報告」と題し、第3期中期目標期間の戦略、運営費交付金の交付状況、社会共創学部の新設などについて報告がありました。

引き続き、東京都健康長寿医療センター研究所/副所長、校友会首都圏支部副支部長の新開省二先生(医学部卒)による『粗食』は早死にする！一元気で長生きする食生活ーと題し講演会が開催され、高齢者の健康長寿の要因や老化を防ぐための食事など、高齢者が多かった出席者には非常に興味深い講演となり、熱心に耳を傾けておられました。

平成28年10月15日(土)
新社会人歓迎会「全員集合」東京会場を開催しました。▶詳細につきましては20ページをご覧ください。

首都圏支部
役員会報告

●平成28年4月16日(土)開催し、下記の事案が承認されました。

- 議題 1. 平成27年度事業報告(案)及び収支決算書(案)について
2. 平成28年度及び29年度事業計画(案)について
3. 平成28年度及び29年度予算(案)について
4. 役員改選について
5. 第5回 定時総会の開催について

●平成28年10月15日(土)開催し、下記の事案が承認されました。

- 議題 1. 平成28年度下期事業について
2. 就職支援事業 就活ツアー参加学生との情報交換会の開催について
3. 平成29年度校友会首都圏支部講演会の開催について

●平成29年1月上旬に開催する予定です。

役員名簿

役職	氏名	出身学部
支部長	清水 栄治	法文学部
副支部長	阿部 仁	法文学部
	伊藤 智志	理学部
	新開 省二	医学部
	鳥海 基忠	工学部
	馬場 博史	農学部
	岡部 永年	退職教員の会
幹事	大村 万夢里	法文学部
	森脇 孝典	法文学部
	石川 貴之	理学部
	佐伯 雅弘	理学部
	酒向 正春	医学部
	田邊 直樹	農学部
監事	菊池 満孝	工学部
	森 孝枝	教育学部

近畿支部だより

平成28年3月1日(火)
就活ツアー（大阪コース）参加学生との情報交換会を開催しました。



▶詳細につきましては10ページをご覧ください。

平成28年6月25日(土)
第3回近畿支部定時総会を開催しました。

平成28年6月25日(土)15時から大阪大学中之島センター3階「講義室304」において第3回定時総会を開催しました。
森本校友会会長をはじめ、近畿圏に在住する会員など33人が出席しました。

定時総会では楠近畿支部幹事の司会進行により、後藤近畿支部長が議長に選出され、平成26年度及び27年度の事業報告、収支決算書、平成28年度及び29年度の事業計画及び予算、支部長及び支部役員選任などについて審議され了承されました。なお、近畿支部長には引き続き後藤幹郎氏（文理卒）が選任されました。

役員名簿

役職	氏名	出身学部
支部長	後藤 幹郎	文理（法文）
副支部長	岡本 正明	文理（法文）
	森川 紘一	教育学部
	堀内 眞理	文理（理）
	渡辺 武晴	工学部
	寺田 省三	農学部
幹事	澤井 達夫	法文学部
	吉富 太郎	法文学部
	西原 功	文理（理）
	夜船 勝彦	文理（理）
	樋口 裕	教育学部
	瀧田 一男	教育学部
	河野 直樹	教育学部
	金子 光夫	農学部
	楠 和俊	農学部
	音瀬 保彦	工学部
	峯山 佳之	工学部
	中村 薫	農学部
	監事	迫 智明
浦部 昌之		農学部



近畿支部 役員会報告

- 平成28年5月14日(土)大阪倶楽部 会議室で開催し、下記の事案が承認されました。
 - 議題 1. 平成27年度事業報告（案）及び収支決算書（案）について
 - 2. 平成28年度及び平成29年度事業計画（案）について
 - 3. 平成28年度及び平成29年度予算（案）について
 - 4. 平成28年度及び29年度役員名簿（案）について
 - 5. 愛媛大学校友会近畿支部定時総会（第3回）の開催及び役割分担について
 - 6. 新社会人支援事業「2016全員集合in大阪」の開催について

- 平成28年12月3日(土)開催する予定です。

愛媛大学校友会近畿支部は校友会本部事務局が担当しております。入会手続きや、活動等についてのお問い合わせは校友会事務局まで。

校友会では、本学を卒業した帰国留学生や海外に在住する日本人卒業生等との交流と親睦を図るとともに、国際化及び国際貢献を推進する本学の発展に寄与することを目的として、6カ国に海外支部を設置し様々な支援を行っています。

海外支部活動報告

平成28年3月15日(火) インドネシア支部交流会を開催しました。

ジャカルタ市内の「Pulau Dua Restaurant」において、本年4月に愛媛大学に新しく設置される「社会共創学部」の広報等のため、インドネシアを訪れた愛媛大学関係者との交流会を開催しました。

愛媛大学からは、西村社会共創学部設置準備室長、榊原理工学研究科教授、砂田総務部経営企画課チームリーダー、理工学研究科博士前期課程のGafur Nurfitri Abdulさんが出席し、インドネシア支部からは、Eko Hasrito Syamsuddin Hasrito, M.Eng.Badan Pengkajian Dan Penerapan Teknologi, Dr.Jarnuzi Gunlazuardi, Lectrue of Universitas Indonesia, Salim Mustofa BATAN研究所職員, Sigit Widodo PT.Fukusuke Kogyo Indonesia, Vice President Director さんの計8名が出席しました。

交流会では、社会共創学部の紹介や学生のインドネシアでのインターンシップの実施、留学生の交流等について懇談したほか、インドネシア支部からは、愛媛大学への入学希望者に対する受験広報や受験支援の充実、奨学金制度の創設などの要望が出されました。

また、インドネシア大学に理学部地球科学科が設置されたことにより、今後、愛媛大学理学部との連携を図ることも話題となりました。

支部活動としては、マレーシア支部会員との交流を推進しており、前回は、マレーシア支部会員がインドネシアを訪問し交流を深め、次回は、インドネシア支部会員がマレーシアを訪問する予定となっています。



海外支部活動報告

平成28年9月16～18日 マレーシア支部・インドネシア支部 合同支部会を開催しました。

2016年9月16日(金)～18日(日)にマレーシアのクアラルンプールにおいて、合同支部会を開催しました。

この合同支部会は、今回で2回目の開催となり、第1回は昨年の9月にマレーシア支部会員がインドネシアのジャカルタを訪問し開催されています。

第2回合同支部会には、両支部会員やその家族及び愛媛大学校友会関係者など合わせて30名余りが出席し、1日目はクアラルンプール市内の名所旧跡巡りや情報交換会が行われるなど、久しぶりの再会を喜び合いました。

続いて、2日目の午前中は、国立マラヤ大学体育館において、スポーツ交流事業としてバドミントンの両支部対抗戦が行われ、和気藹々ながらも熱戦が繰り広げられ大いに盛り上がりしました。その後、両支部会員とその家族及び愛媛大学からマラヤ大学に留学中の学生6名も加わり、賑やかな昼食会を開催し相互の親交を深めるとともに情報交換を行いました。午後からは、同大学会議室において、マレーシア支部のイスワティ支部長を議長に選出し合同支部会を開催しました。会では、先ず出席者全員の自己紹介を行った後、支部活動の現状や今後の課題等について意見交換が行われました。



特に、来年の支部会については、両国の支部会員だけでなく他の海外支部会員にも呼びかけ、11月頃に愛媛大学(松山市)において合同支部会を開催することについて提案があり、今後、実施に向けて検討することになりました。

また、支部会員のネットワーク等の充実・強化についても、英語版によるホームページ作成のほか、校友会と両支部との連携や情報交換を強化するために、校友会から両支部の窓口代表者あてに定期的に連絡することや両支部会員のメーリングリストを作成することなど、約3時間余りにわたって真剣かつ熱心に討議が行われ、大変有意義な支部会となりました。

海外支部の設置状況

	支部	設立年月	支部長
1	ベトナム支部	2006年 9月	Le Thi-Hai Le 〈リ ハイレ〉
2	中国支部	2006年11月	蔡 英春 CAI, Yingchun 〈サイ エイシュン〉東北林業大学
3	ネパール支部	2007年 4月	Yogesh Hari Shrestha 〈ヨゲシュ〉
4	マレーシア支部	2007年11月	Iswadi Bin Jauhari 〈イスワディ〉
5	インドネシア支部	2013年12月	Herry Suhardiyanto 〈ヘリー〉ポゴール農業大学
6	バングラデシュ支部	2014年12月	Nur Ahamed Khondaker



■校友会組織



愛媛大学校友会			
〈主な事業活動〉 ・ 会員情報の登録・整備 ・ 会員間の親交と交流 ・ 地域社会への貢献 ・ 在学生・卒業生への支援 ・ 母校愛媛大学への支援			
正会員 ・ 各同窓会会員 (卒業生) ・ 後援会会員 ・ 退職教員の会会員 ・ 退職職員会会員 ・ 大学教職員	準会員 ・ 在学生	賛助会員 ・ 個人, 会社, 団体 等	
会議 総会 理事会 常任理事会	役員 会長 (理事) 副会長 (理事) 理事 監事	幹事 顧問 相談役 参与	支部 国内支部, 海外支部 事務 事務局

■校友会Q&A

- 校友会の目的は？**
 愛媛大学校友会は平成16年3月20日に愛媛大学の発展に寄与すると共に、会員相互の親交と交流を図ることを目的に設立された団体です。現在、会員は12万人を超えています。
- 校友会の会員は？**
 愛媛大学校友会の正会員になりうる者は、愛媛大学の各学部同窓会員、後援会員、退職教職員、現職教職員等で、準会員となりうる者は、愛媛大学在学生です。
- 校友会の会費は？**
 校友会設立 (平成16年3月20日) 以前から各同窓会会員の卒業生は、校友会設立時に校友会の正会員としていますので、校友会会費 (2万円) を納めていただく必要はありません。
 また、校友会設立以降に入学した方は、入学以後に校友会会費 (2万円) を納めれば在学中は準会員に、卒業 (退学) 後は自動的に正会員 (終身会員) となります。
- 各学部同窓会と校友会とのちがいは？**
 愛媛大学の同窓会は学部ごとに組織された団体ですが、校友会はすべての学部の垣根を越えて組織された団体で、各学部同窓会員、後援会員、退職・現職教職員及び在学生 (準会員) も含まれる点で大きく異なります。
- 学生 (準会員) へはどんな支援をしているの？**
 学生へは大きく分けて「入学生支援」「教育支援」「課外活動支援」「学業奨励金給付事業」「海外留学支援」「留学生支援」「就職活動支援」「卒業生支援」等を行っています。
 最近では、入学生には「学修ポートフォリオファイル」及び「入学記念品」を、卒業生には卒業記念品として「今治のタオルマフラー」を贈呈しました。
- 卒業後はどんな活動に参加できるの？**
 総会 (3年に1回開催) にぜひ参加してください。また、会員間の交流事業として「ホームカミングデイ」、「新社会人歓迎会 (全員集合in東京、大阪)」、「就活学生との情報交換会」、「講演会」、「公開講座」、「演奏会」等に参加いただけます。
- 会員情報登録って？**
 愛媛大学校友会会員であっても住所、メールアドレスなどの情報を校友会に登録していただかないと、校友会から愛媛大学及び校友会の近況やイベント情報をお知らせすることが出来ません。大学や校友会からの情報発信や会員同士のネットワークを広げていただくため、ぜひ次の「会員情報登録のご案内」により会員情報登録 (無料) をお願いします。まだ登録されていない方、卒業等により連絡先を変更された場合にも、変更登録をお願いします。なお、新規に登録された方には校友会から記念品を進呈いたします。

■会員情報登録のご案内

※登録は無料です。

- ① WEBからの登録
<http://koyu.ehime-u.jp/> から入力してください。
- ② ハガキで登録
 巻末のハガキに必要事項を記入し、投函してください。



※愛媛大学校友会の会員の方のみご登録が可能です。
 ※なお、ご登録いただきました情報に関しましては、愛媛大学校友会が厳重に管理し、校友会からのご連絡のみに使用し、他の目的に使用したり、第三者に提供することはありません。

平成28年7月23日(土)、愛媛大学校友会理事会及び第5回定時総会を開催しました。

総会前に校友会館2階のサロンで理事会を開催し、理事総数58人のうち29人が出席の上、総会の議案等について審議し了承されました。

理事会終了後、法文学部大会議室（法文学部本館8階）において第5回定時総会を開催しました。定時総会では会員83人が出席し、校友会会則の一部改正、平成25～27年度の事業報告・収支決算書、平成28年度の事業計画・収支予算案、次期役員改選について審議し承認されました。

なお、役員改選では校友会設立以来の森本惇会長が任期満了で退任され、高橋祐二副会長（三浦工業株式会社代表取締役会長）が次期会長に就任することが満場一致で決まりました。定時総会終了後、国際ホテル松山南館1階「鳳凰」において懇親会が開催され会員80人が参加しました。

当日は猛暑にもかかわらず、多数の方にご出席頂き、ありがとうございました。

■理事会 14:00～ 校友会館2階サロンにて（出席者29人）

■総会 15:30～ 愛媛大学法文学部大会議室にて（出席者83人）

- 次第
1. 開会
 2. 会長挨拶 校友会会長 森本 惇
 3. 議長選出
 4. 議事
 - (1) 会則の一部改正について
 - (2) 平成25, 26, 27年度事業報告書（案）及び収支決算書（案）について
 - (3) 平成28年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）について
 - (4) 役員改選について
 - (5) その他
 5. 閉会



〈大橋学長から森本前会長へ感謝状と記念品贈呈〉

■懇親会 18:00～ 国際ホテル松山南館1階「鳳凰」（会員80人出席）



校友会役員紹介 平成28年度～平成30年度

(敬称略：50音順)

役職	氏名	現職	役職	氏名	現職	役職	氏名	現職
会長	高橋 祐二	三浦工業株式会社会長、工業会（工学部同窓会）	理事	岩田 英信	医学部後援会	理事	野間須 淳一	農学部事務課長
副会長 (常任理事)	武田 壽	工業会会長、国際連携推進機構客員教授	理事	上田 修三	社会共創学部事務課長	理事	VERGIN・RUTH	国際連携推進機構 国際教育支援センター教授
副会長 (常任理事)	野村 靖記	松山総合開発代表取締役社長、法文学部同窓会総務企画担当	理事	亀岡 久志	理学部事務課長	理事	服部 豊正	社会共創学部後援会会長
常任理事	池内 浩二	総務部次長、総務企画担当	理事	城戸 茂	法文学部後援会会長・教育学部教授	理事	細川 富生	工学部事務課長
常任理事	井上 雅裕	理工学研究科（理）教授	理事	久保 泰敏	法文学部同窓会	理事	村瀬 光春	退職職員会
常任理事	江崎 次夫	農学部同窓会（ユウカリ会）会長	理事	窪田 博継	教育学部同窓会	理事	森本 哲夫	農学部同窓会（ユウカリ会）
常任理事	大谷 勲	理学部同窓会	理事	後藤 淳	医学部看護学科同窓会 山陽学園大学	理事	若田 益業	理学部後援会会長
常任理事	小池 昭彦	法文学部同窓会会長	理事	後藤 幹郎	近畿支部長、法文学部同窓会	理事	渡邊 政広	工業会（工学部同窓会）
常任理事	高田 清式	愛大附属病院総合臨床研修センター教授 医学部同窓会会長	理事	嶋津 孝	退職教員の会	監事	井手 康夫	旧制松山高専同窓会
常任理事	高橋 治郎	教育学部同窓会会長	理事	清水 栄治	首都圏支部長、法文学部同窓会	監事	八尋 秀典	工学部長・教授
常任理事	立入 哉	教育学部教授	理事	菅原 康弘	法文学部事務課長	幹事	阿部 修一	教育学部同窓会
常任理事	仁科 弘重	理事・副学長、農学研究科教授、総務企画担当	理事	菅田 顕	教育学部同窓会	幹事	阿部 晋	教育学部同窓会
常任理事	野倉 嗣紀	退職教員の会、総務企画担当	理事	仙波 文彦	財務部財務企画課長	幹事	池内 直之	工業会（工学部同窓会）、南海放送
常任理事	羽藤 堅治	農学研究科教授	理事	竹内 厚	教育学部事務課長	幹事	垣原登志子	農学部同窓会（ユウカリ会）
常任理事	平岡 耕一	理工学研究科（工）教授	理事	武田 和義	退職職員会	幹事	後藤 珠希	法文学部同窓会
常任理事	松本 長彦	法文学部教授	理事	竹田 美喜	松山市立子規記念博物館館長、法文学部同窓会	幹事	城賀本 晶子	医学部看護学科同窓会
常任理事	水口 和壽	退職教員の会	理事	谷 弘幸	理学部同窓会	幹事	渡部 保夫	農学部同窓会（ユウカリ会）
常任理事	矢野 紘	工業会（工学部同窓会）、総務企画担当	理事	谷村 雄二	農学部後援会会長	幹事	藤井 雅治	工業会（工学部同窓会）、理工学研究科（工）教授
常任理事	山村 滋	退職職員会	理事	坪井 敬文	医学部同窓会、プロテオサイエンスセンター教授	幹事	松下 志郎	教育学部同窓会
常任理事	山本 智規	社会共創学部准教授	理事	鶴崎 孝	退職教員の会	幹事	松田 正司	医学部同窓会、システムバイオロジー生体機能発生学教授
理事	東 長雄	理学部同窓会会長	理事	仲田 利通	工学部後援会会長	幹事	渡邊 政富	工業会（工学部同窓会）、渡部建設㈱
理事	池田 尊之	教育学部後援会会長	理事	仲田 秀雄	理学部同窓会	顧問	大橋 裕一	愛媛大学長
理事	稲見 俊光	退職職員会	理事	西田 和興	法文学部同窓会	相談役	森本 惇	前校友会会長
			理事	野田 忠利	退職職員会	参与	鮎川 恭三	元愛媛大学長

平成27年度事業報告及び平成28年度事業計画

区分	事業名	平成27年度事業報告	平成28年度事業計画	
会員交流事業	会員ネットワーク事業	校友会の活動状況を校友会会員に広く情報発信するため校友会の会報誌を創刊した。	校友会の活動状況を校友会会員に広く情報発信するため「校友会報」第2号を発行する。	
		県内企業等で働く先輩を訪問取材し校友会ホームページに掲載することで、会員相互のネットワークを拡大させるとともに、在学生の就活の一助とした。	県内企業等で働く先輩を訪問取材し、校友会ホームページに掲載することで会員相互のネットワークを拡大させるとともに、在学生の就活の一助とする。	
		首都圏、近畿圏で働く新社会人を応援するため全員集合を開催した。	首都圏、近畿圏で働く新社会人を応援するため全員集合を開催する。	
	支部設立等事業	国内の支部及び海外の支部に関する事業への支援を行った。	国内の支部及び海外の支部に関する事業への支援を行う。	
	人材バンク事業	NPO法人「愛媛大学校友会人材活用センター」主催による公開講座を開講した。また、同センター会員の人材バンクへの登録を推進した。	NPO法人「愛媛大学校友会人材活用センター」事業の支援を行う。	
	社会活動支援及び相談事業	えひめ結婚支援センターの協賛企業として登録を継続している。東日本被災地への支援を実施した。	えひめ結婚支援センターの協賛企業として登録を継続する。東日本被災地への支援を実施する。	
	就職支援事業	東京、大阪及び広島で開催される合同企業説明会に参加する学生に対し、バス借り上げや就職活動交通費の一部補助等を行った。また、東京、大阪では卒業生との情報交換会を開催し就職活動を支援した。	東京、大阪及び広島で開催される合同企業説明会に参加する学生に対し、バス借り上げや就職活動交通費の一部を補助する。東京、大阪では卒業生との情報交換会を開催し就職活動を支援する。	
		医学部の資格取得のための模擬試験受験費用への資金援助を行った。	医学部の国家資格取得試験のための資金援助を行う。	
	修学資金支援貸与援助	経済的理由により一時的に修学困難な学生にたいし授業料半期分相当額を貸与している。また、返還業務の円滑な処理を行う。	貸与者に対し返還業務の円滑な処理を行う。	
	新入生及び卒業生記念品事業	新入生に対し「学修ポートフォリオファイル」、「多色ボールペン」を作成し配布した。また、卒業生に記念品「今治タオルマフラー」を贈呈した。会員登録記念品に「Quoカード」を作成した。	新入生及び卒業生に記念品を贈り校友会活動の広報等に役立てる。	
ホームカミングデイ事業	愛媛大学と共催して第6回ホームカミングデイを実施した。	愛媛大学と共催で、第7回ホームカミングデイを実施する。		
大学支援事業	全学支援事業	平成27年度愛媛大学図書館資料収集方針に基づき、学生用図書を選書し大学に寄付した。	全学的に開催する事業への支援及び資金援助を行う。	
	海外派遣制度支援事業	交流協定校への派遣補助、国際連携課が企画する海外派遣プログラム参加者に対する渡航費等の一部補助や保険料等の一部補助を行った。	交流協定校及び国際連携課が企画する短期海外派遣プログラム参加者に対する渡航費等の一部補助や保険料等の一部補助を行う。	
	留学生修学資金援助事業	グローバル人材留学生及び成績優秀な私費留学生に対する修学資金の援助を行った。また、アイネックス法人に加入した。	成績優秀者かつ経済的困窮留学生、グローバル人材育成プログラム生へ奨学金を支給する。	
	学業奨励金給付事業	---	県内就職率向上と地域の活性化を図ることに繋げるため、愛媛大学が行う「地域定着促進」特別奨学金制度に資金援助を行う。	
	学生募集活動支援事業	入試担当職員の進学説明会等への参加に対し、旅費の資金援助を行った。	入試担当職員の進学説明会等への参加に対し、旅費の資金援助を行う。	
	課外活動支援事業	愛媛大学が定めた評価基準に基づき、学生団体の平成26年度における課外活動状況を評価し、上位からA～Eの5段階に分類し、支援経費を配分した。また、医学部学生団体連盟に支援経費を補助した。	愛媛大学が定めた評価基準に基づき、学生団体の平成27年度における課外活動状況を評価し、上位からA～Eの5段階に分類し、支援経費を配分する。また、医学部学生団体連盟に支援経費を補助する。全国大会に出場するサークルに交通費等を支援する。	
	SSC支援事業	スーパーサイエンス特別コースにおける特別交流授業への実施への補助（懇親会費等補助）を行った。	スーパーサイエンス特別コースにおける特別交流授業への実施補助（交流会実施経費等補助）を行う。	
	英語プロフェッショナル養成コース支援事業	学生の高度で実践的な英語運用能力を養成するため、カレッジTOEIC受験の資金援助を行った。	学生の高度で実践的な英語運用能力を養成するため、カレッジTOEIC受験の資金援助を行う。	
	社会連携事業	講演会等開催事業	今年度は実施しなかった。	愛媛大学等と共同して講演会、シンポジウム、研修会等を開催する。
		地域連携支援事業	今年度は実施しなかった。	地域で開催される連携事業に対する支援及び資金援助を行う。
カレンダー共同作成事業		「子規プロジェクト」と共同でカレンダーを作成し、国内外への校友会及び愛媛大学の広報に役立てた。	「子規プロジェクト」と共同でカレンダーを作成し、国内外に対して校友会及び愛媛大学の広報に役立てる。	
愛大ミュージアム支援事業		企画展示等にかかる実施支援や広報活動の充実支援を行った。また「卒業アルバム検索システム」の更新を行った。	企画展示等にかかる実施支援や広報活動の充実支援を行う。また「卒業アルバム検索システム」の更新を行う。	
管理運営等	各種印刷物	校友会パンフレットを改訂し入学生全員に配布した。校友会が行う各種事業や諸活動に関する情報を提供することによって、校友会事業の円滑な実施と会員相互の連携強化を図った。	校友会パンフレットなどの印刷物を発行し、校友会が行う各種事業や諸活動に関する情報を提供することで、校友会事業の円滑な実施と会員相互の連携強化を図る。	
	会議等	理事会、常任理事会を開催した。	常任理事会、理事会、第5回定時総会を開催する。	

平成27年度決算及び平成28年度予算

(収入) (単位：千円)

科目	27年度決算額	28年度予算額	差引増▲減額	備考
	A	B	B-A	
会員会費	39,240	38,280	▲960	学部・大学院・退職教職員等入会者
受取利息	25	15	▲10	預金利息
寄附金				
返還金（修学資金支援貸与金）	627	982	355	
雑収入				
当期収入合計	39,892	39,277	▲615	
前期繰越収支差額	18,652	24,778	6,126	
収入総合計①	58,544	64,055	5,511	

(支出) (単位：千円)

1事業	(1) 会員交流事業	14,983	19,000	4,017	会員ネットワーク事業、支部設立等事業、人材バンク事業、社会活動支援及び相談事業、ホームカミングデイ支援事業、新入生・卒業生記念品事業
	(2) 大学支援事業	9,889	14,410	4,521	学生用図書の購入、海外派遣制度支援事業、留学生修学資金支援事業、学生募集支援事業、課外活動支援事業、SSC支援事業、英語プロフェッショナル養成コース支援事業
	(3) 社会連携事業	2,824	3,600	776	講演会等開催事業、地域連携支援事業、カレンダー共同作成事業、愛大ミュージアム支援事業
2管理運営	(1) 管理費等	5,770	9,100	3,330	
	(2) 予備費	300	5,000	4,700	
	当期支出小計	46,732	51,110	4,378	
	積立金（特別経理へ）	0	10,000	10,000	
	支出総合計②	33,766	61,110	27,344	
次期繰越収支差額（①-②）	24,778	2,945	▲21,833		

■平成28年4月に社会共創学部が設置されました。

愛媛大学は今年4月、新たに社会共創学部が誕生しました。42年ぶりの新学部設立ということで、地域からも大きな期待が寄せられています。これにより愛媛大学は法文学部、教育学部、社会共創学部、理学部、医学部、工学部、農学部の7学部となりました。

社会共創学部は、産業マネジメント学科、産業イノベーション学科、環境デザイン学科、地域資源マネジメント学科の4学科で、1期生191人（愛媛県内出身者約6割）を迎え、スタートしました。7月23日には開設記念式典・祝賀会が盛大に行われました。新学部の発展に期待します。



除幕を祝う大橋学長等関係者



■校友会からの寄附により愛大城北キャンパスに屋根付き駐輪場ができました。

愛媛大学校友会は教育・研究等の運営資金として愛媛大学へ3,000万円寄附しました。

大学ではこの寄附で学内の施設整備を行うこととなり、今回は城北キャンパス駐輪場の整備の一部に使用することとなりました。この整備により430台収容の屋根付き駐輪場と210台収容の仮設駐輪場が設置され、自転車通学生の利便性向上や駐輪違反がなくなることを期待します。

平成27年12月17日(木)、学長室において森本校友会会長から大橋愛媛大学長に目録の贈呈が行われました。



目録の贈呈



完成した屋根付き駐輪場

■第67回四国地区大学総合体育大会（インカレ）が高知県を舞台に開催されました。

今年で67回を迎えた四国地区大学総合体育大会は、四国20の大学・短期大学が参加し、本学からは25種目575人の選手が出場しました。男子は陸上競技・バレーボール・ボート・少林寺拳法、女子は水泳競技・バレーボール・弓道で優勝しました。なかでも男子バレーボール部は10連覇を果たし、もはや優勝常連となっております。

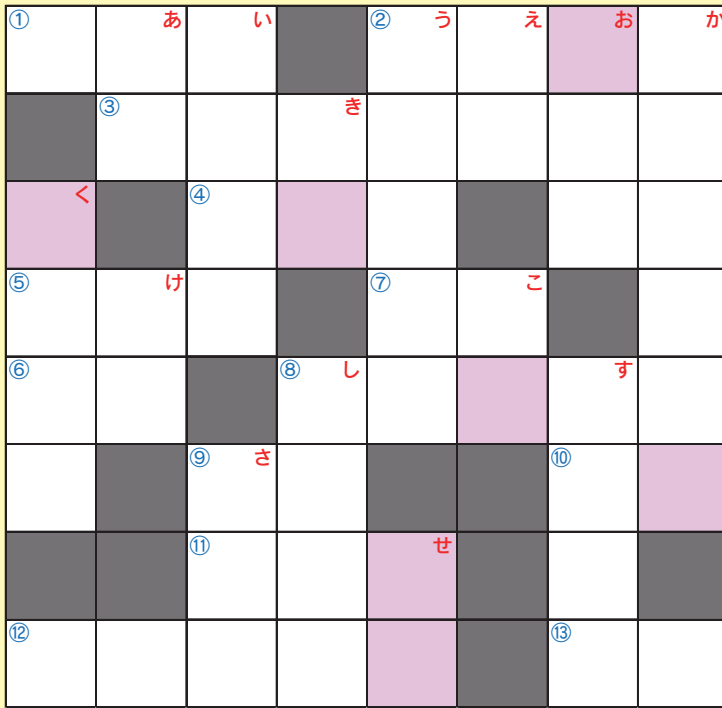
これらの結果、女子は2位の松山大学に5点差をつけ、見事に2年連続総合優勝を果たしました。男子も健闘し総合2位という結果でした。皆さん、お疲れさまでした。



女子は2年連続総合優勝



男子バレーボール10連覇



★横のカギ ①～⑬

- ① 前校友会会長の名前「森本〇〇〇」
- ② 腰巾着 松山にまつわる小説登場人物
- ③ 2017年開催の国民体育大会
- ④ 現在の距離換算で約16km
- ⑤ 行く末を心配する
- ⑥ 愛媛の昔の名前
- ⑦ 古代の狩猟に使った道具
- ⑧ 松山市特産の漬け物
- ⑨ 愛媛大学南水研が養殖している「幻の高級魚」
- ⑩ 普通と様子が変わっていること
- ⑪ 衣服の合わせ布地
- ⑫ 松山と言えば！列車にも
- ⑬ 傷が化膿した時に出るもの

★縦のカギ あ～せ

- あ 身体を支えるもの
- い 目印となるもの
- う 福が有る？
- え 下手な俳句
- お 他者に依頼してお願いすること
- か これも病の一種
- き 隣の県では「うどん」
- く 愛媛大学長の名前「大橋〇〇〇〇」
- け 助動詞「る」の命令形
- こ 教科の一つ
- さ 得られる値
- し アジアで最も高い山脈
- す 要領が悪いこと
- せ 麦やじゃがいもなどを原料とした蒸留酒

の文字を組み合わせると校友会に関する文言になります。

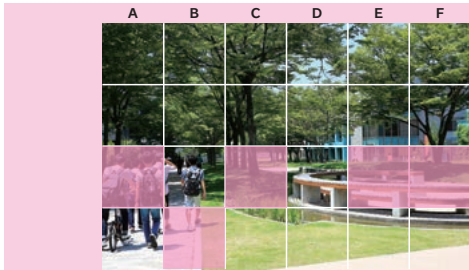
〈答え〉



添付のハガキによりご回答ください。

正解者 抽選で10名様に校友会オリジナルQUOカード1000円分、100名様には500円分を贈呈いたします。
〔応募の〆切：平成29年5月31日(水)消印有効〕

〈前回クイズの回答〉



〈正解〉

A-3・B-4・C-3・E-3・F-3
の5つでした。

正解者全員に校友会オリジナルQUOカード(500円)をお送りしました。



〈校友会事務局より〉

■はじめに、本誌も今年で第2回目の発行となりましたが、相変わらず盛り沢山の内容を詰め込み、皆様には少々読みにくい会報となりましたことお詫びいたします。これも、年1回発行の制約の中、校友会会員の皆様に校友会や愛媛大学の情報をできるだけ多く詳細にお伝えしたいとの思いが、この構成となりました。

今後とも、この校友会報が、会員の皆様と校友会並びに母校との絆をより一層深めるツールとなるよう編集して参りますので、ご支援のほどお願いいたします。なお、会員の皆様方からの情報提供もお待ちしておりますので、是非ご投稿をお願いいたします。(J)

■校友会事務局にささげていただいて、皆様の愛媛大学を大切にされている気持ちを、いろいろな場面で感じることが出来ます。愛されている大学なのだと思います。愛媛大学に関する全ての方々がつながっている場所としてある校友会。会報を通じてその輪がますます大きくなりますように。(T)

■定年後、校友会事務局で3年目になりますが、最近、校友会活動に不安と危機感を抱くようになりました。それは、いろいろな校友会のイベントを実施しても参加者が少ないということです。特に若手卒業生の参加者を増やさない、これからの校友会の発展は望めません。事務局の一員として、更に会員情報の登録を呼びかけるとともに、各学部同窓会と連携しながら魅力あるイベントを企画・実施できればと考えています。この会報誌を手にした皆さん、何か良い方策がございましたらご提案下さい。よろしくお願いたします。(O)

■2号目となりましたが、会員の皆様は何か知りたいでしょうか。ご意見や、大学の思い出とともに、昔の写真などもありましたら是非お寄せ下さい。お待ちしております。私事ですが、マンネリ化している生活を打破しようとか習い事でも始めたいなど思っております。飽きっぽいので続くのか心配ですが、長く続く趣味になるよう楽しみたいと思っております。(M)

愛媛大学校友会では、大学や校友会からの情報発信や会員同士のネットワークを広げていただくために、「登録会員」を募集しています。登録者には記念品を進呈！是非ウェブ登録を。



